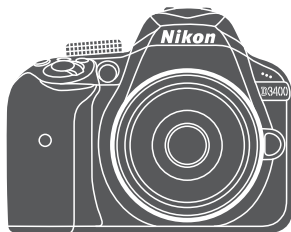


Nikon

デジタルカメラ

D3400

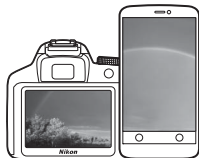
使用説明書



- 製品をお使いになる前に本書をよくお読みください。
- 「安全上のご注意」(ixページ)も必ずお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、いつでも見られるところに保管してください。

Jp

SnapBridge



あなたの映像を、世界につなげよう

“SnapBridge”へ、ようこそ。ニコンの新たなサービスが、かつてない豊かな映像体験への扉を開きます。

BLE (Bluetooth® low energy) テクノロジーと専用アプリで、あなたのカメラとスマートフォン/タブレット端末を常時接続。

そこには、もう境界はありません。ニコンのカメラとレンズで特別な映像として刻まれたあなたの想いは、端末に自動転送され、クラウドストレージサービスに直接アップロード可能。もちろん、クラウド上の映像は、あなたがお持ちのさまざまな端末からもアクセスできます。あなたの想いは、いつでも、どこからでも、シェアできるのです。

豊かな映像体験へ。まずはアプリをダウンロード！

“SnapBridge”の多彩な機能を楽しむには、まず専用アプリをお手持ちのスマートフォン/タブレット端末にダウンロードしてください。対応するiPhone®、iPad®、iPod touch®、またはAndroid™ 端末なら、簡単な手順でカメラと連係できます。専用アプリは、ウェブサイト (<http://snapbridge.nikon.com>) およびApple App Store® またはGoogle Play™でダウンロード可能です (無料)。SnapBridgeの最新情報については当社ホームページでご確認ください (□xiii)。



Download on the
App Store



GET IT ON
Google Play

映像体験をもっと便利に楽しく。“SnapBridge”なら…



常時接続により、撮影した映像をカメラからスマートフォン/タブレット端末に自動転送。映像のオンライン共有がこれまでよりも簡単に、ストレスなく行えます。

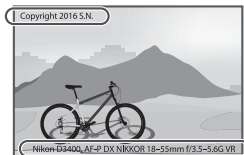
NIKON IMAGE SPACE



撮影画像やサムネイル画像を、ニコンのクラウドストレージサービス「NIKON IMAGE SPACE」にアップロードできます。

映像体験を豊かにする各種サービス

- 映像へのクレジット情報の写し込み
(著作権情報、画像コメント、任意テキスト、ロゴなどから最大2種類)



- カメラの日時・位置情報の自動更新



- ファームウェア更新案内の受け取り



お使いになる前に、この使用説明書をよくお読みになり、内容を十分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管し、撮影を楽しむためにお役立てください。

本文中のマークについて

この使用説明書は、次の記号を使用しています。必要な情報を探すときにご活用ください。



カメラを使用する前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。



カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。



使用説明書上で関連情報が記載されているページです。

表記について

- SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、およびSDXCメモリーカードを「SDカード」と表記しています。
- バッテリーチャージャーを「チャージャー」と表記しています。
- ご購入時に設定されている機能やメニューの設定状態を「初期設定」と表記しています。
- 本書では、カメラの設定が初期設定であることを前提に操作の説明を行っています。



「Nikon Manual Viewer 2」アプリ

ニコンデジタルカメラの説明書をスマートフォンやタブレットで見ることができるアプリです。App StoreまたはGoogle Playでダウンロードできます（無料）。

* アプリおよび使用説明書をダウンロードするには、インターネットに接続できる環境が必要です（通信料が発生します）。

⚠ 安全上のご注意

安全にカメラをお使いいただくために守っていただきたい内容が記載されています。カメラをお使いになる前に必ずお読みください。詳しくは□ix～xiiをご覧ください。



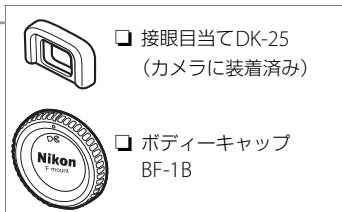
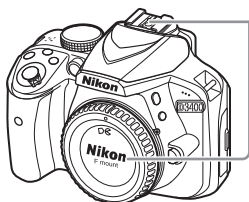
ニコンソフトウェアViewNX-iとCapture NX-Dについて

ViewNX-iはカメラで撮影した画像や動画の転送や閲覧・調整が、Capture NX-Dは画像の調整やRAW現像ができるニコンのソフトウェアです。下記のホームページでソフトウェアの最新情報や動作環境をご確認の上、ダウンロードしてください。

<http://downloadcenter.nikonimglib.com/>

カメラと付属品を確認する

お使いになる前に、カメラと付属品が全てそろっていることを確認してください。万一、付属品がそろっていない場合は、ご購入店にご連絡ください。



D3400カメラ本体

Li-ionリチャージャブルバッテリー
EN-EL14a (端子カバー付)

バッテリーチャージャー MH-24

ストラップAN-DC3

使用説明書 (本書)

保証書

- レンズキットの場合はレンズも付属しています。
- SDカードは別売です。
- 日本国内でご購入いただいたカメラは、画面の表示言語を日本語または英語に設定できます。

活用ガイドについて

このカメラには、さらに詳しい説明が記載されたPDF形式の活用ガイドが当社のホームページに用意されています。

ダウンロードの方法は次の通りです。

1 Webブラウザで下記のホームページにアクセスする

<http://downloadcenter.nikonimglib.com/>

2 機種を選んで、PDFファイルをダウンロードする

- 活用ガイドをご覧いただくためには、Adobe Readerが必要です。
- 印刷した「活用ガイド」をご注文いただけます (有料)。詳細はカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

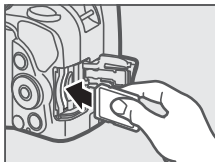
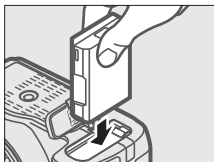
すぐに撮影する方のために

次の手順で操作すると、すぐに撮影ができます。

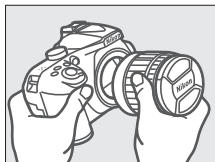
1 カメラにストラップを取り付ける (2カ所) (10)

2 バッテリーをチャージャーで充電する (10)

3 カメラにバッテリーとSDカードを入れる (11)



4 レンズを取り付ける (14)

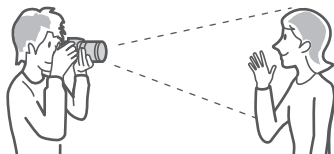


5 カメラの電源をONにしてカメラとスマートフォンを接続する (16)

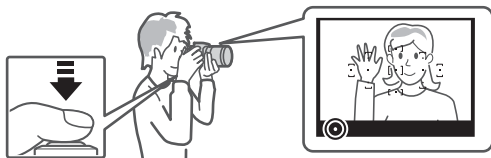
- 後でカメラとスマートフォンを接続する場合は、**MENU**ボタンを押してガイドを終了します。ガイドを終了すると日時の設定画面が表示されます (21)。



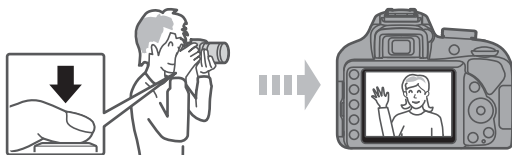
6 カメラを構えて構図を決める (25、26)



7 シャッターボタンを軽く押して (半押しして)、ピントを合わせる (27)



8 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込んで (全押しして)、撮影する (28)



目次

カメラと付属品を確認する.....	iii
活用ガイドについて.....	iii
すぐに撮影する方のために.....	iv
安全上のご注意.....	ix
ご確認ください.....	xiii
Bluetooth 機能について.....	xvi

お使いになる前に **1**

各部の名称.....	1
カメラ本体.....	1
ファインダー.....	4
モードダイヤル.....	5
☐ (◁/▷) (リリースモード) ボタン.....	6
インフォ画面.....	7

撮影前の準備をする **10**

ストラップを取り付ける (2カ所).....	10
バッテリーを充電する.....	10
カメラにバッテリーとSDカードを入れる.....	11
レンズを取り付ける.....	14
電源をONにして、カメラをセットアップする.....	16
ファインダーを見やすくする.....	22
バッテリー残量と記録可能コマ数を確認する.....	23







かんたんな撮影と再生 **24**

かんたんに静止画を撮影する	
(AUTO) オート / (🚫) 発光禁止オート.....	24
撮影した画像を再生する (1コマ表示モード).....	32
画像を削除する.....	34
動画を撮影する.....	35
撮影した動画を再生する.....	39
動画を削除する.....	41











GUIDE (ガイド) モードを使う 42

ガイドモード.....	42
GUIDE モードのメニュー一覧.....	43
GUIDE モードでの操作方法.....	46

被写体や状況に合わせて撮影する (シーンモード) 48

 (ポートレート).....	48
 (風景).....	49
 (こどもスナップ).....	49
 (スポーツ).....	49
 (クローズアップ).....	49
 (夜景ポートレート).....	49

特殊効果をつけて撮影する (スペシャルエフェクトモード) 50

 (ナイトビジョン).....	51
 VI (極彩色).....	51
 POP (ポップ).....	51
 (フォトイラスト).....	51
 (トイカメラ風).....	51
 (ミニチュア効果).....	52
 (セレクトカラー).....	52
 (シルエット).....	52
 (ハイキー).....	52
 (ローキー).....	53

P、S、A、M モードで撮影する 60

P: プログラムオート.....	61
S: シャッター優先オート.....	61
A: 絞り優先オート.....	61
M: マニュアル.....	62
画像の明るさを調整する (露出補正).....	64

メニューを使う 66

メニュー項目の一覧.....	67
----------------	----

ViewNX-i 73

ViewNX-i をインストールする.....	73
ViewNX-i を使う.....	74
ViewNX-i を使ってパソコンに画像を取り込む.....	74

資料 77

使用できるレンズ.....	77
使用できるアクセサリ.....	79
カメラのお手入れについて.....	82
保管について.....	82
クリーニングについて.....	82
カメラとバッテリーの取り扱い上のご注意.....	83
カメラの使用上のご注意.....	83
バッテリーの使用上のご注意.....	86
チャージャーの使用上のご注意.....	87
警告メッセージ.....	88
主な仕様.....	92
電池寿命について.....	107
ニコンプラザについて.....	109
修理サービスのご案内.....	110
修理に関するお問い合わせ先.....	111
製品の使い方に関するお問い合わせ先.....	111

安全上のご注意

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
この説明書をお読みになった後は、いつでも参照できるように保管してください。



危険

「死亡または重傷を負うおそれ大きい内容」です。



警告

「死亡または重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

お守りいただく内容を、以下の図記号で区分しています。



は、してはいけない内容です。



は、実行しなければならない内容です。



警告



禁止

歩きながらや運転しながらの操作はしない
事故やけがの原因になります。



分解 禁止

分解、修理または改造をしない
落下などによる破損で内部が露出したら、露出部に触らない
感電やけがの原因になります。



実行

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、直ちに電池や電源を取り外す
放置すると、発火、やけどの原因になります。




禁止


水でぬらさない
ぬれた手で触らない
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電や発火の原因になります。




禁止


電源を入れたまま長時間直接触らない
低温やけどの原因になります。

 **禁止** 引火、爆発のおそれのある場所では使わない
プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所で使うと、爆発や火災の原因になります。


 **禁止** レンズまたはカメラで直接太陽や強い光を見ない
失明や視力障害の原因になります。

 **禁止** フラッシュやAF補助光を運転者にむけて発光しない
事故の誘発につながります。

 **禁止** 幼児の手の届くところに置かない
故障やけがの原因になります。
小さな付属品を誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。
飲み込んだら、すぐに医師の診断を受けてください。


 **禁止** ストラップ類を首に巻きつけない
事故の原因になります。


指定外の電池、充電器、ACアダプターは使わない
指定の電池、充電器、ACアダプター、を使う際は、以下の点に注意する

 **禁止**


- コードやケーブルを傷つけたり、加工したりしない
- 重いものを載せたり、加熱したり、引っぱったり、無理に曲げたりしない
- 海外旅行者用電子式変圧器（トラベルコンバーター）やDC/ACインバーターなどの電源に接続して使わない

発火、感電の原因になります。

 **禁止** 充電時やACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触らない
感電の原因になります。

 **接触禁止** 高温環境や低温環境では、直接触らない
やけどや低温やけど、凍傷の原因になることがあります。

注意

 **禁止** レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない
集光して、内部部品の破損や発火の原因になることがあります。
逆光撮影では、太陽を画角から十分にずらしてください。
画角から太陽をわずかに外しても、発火の原因になります。

**実行**

使用が禁止されている場所では、電源を**OFF**にする
無線通信が禁止されている場所では、無線通信機能が作動しない
ようにする
医療機関や航空機内では、本機器が出す電磁波が、周囲の機器に
悪影響を与えるおそれがあります。

**実行**

長時間使わないときは、電池や**ACアダプター**を取り外す
故障や発火の原因になります。

**接触
禁止**

レンズなどの可動部には触らない
けがの原因になります。

**接触
禁止**

フラッシュを人体やものに密着させて発光させない
やけどや発火の原因になります。

**禁止**

夏場の車内や直射日光の当たる所など高温環境に放置しない
故障や発火の原因になります。

**危険** (電池について)

電池は誤った使いかたをしない

注意事項を無視してお使いになると、液もれ、発熱、破裂、発火
の原因になります。

**禁止**

- 充電機は、専用の充電機以外を使わない
- 電池を火の中に入れてたり、加熱したりしない
- 電池を分解しない
- 電池をネックレスやヘアピンなどの金属類に接触させて
ショート（短絡）しない
- 電池、または電池を入れたカメラに強い衝撃を与えたり、投げ
たりしない

**禁止**

リチャージابلバッテリー **EN-EL14a** は、専用の充電器以外
で充電しない
液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。

**実行**

電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い
流し、医師の診察を受ける
放置すると、目に傷害を与える原因になります。

**警告** (電池について)**禁止**

電池を乳幼児の手の届く所に置かない
飲み込んだら、すぐに医師の診断を受けてください。

**禁止**

水につけたり、雨にぬらしたりしない

発火や故障の原因になります。

ぬれてしまったら、乾いたタオルなどで十分にふき取ってください。

**禁止**

変色・変形、そのほか異状に気づいたら使わない

リチャージャブルバッテリー **EN-EL14a** は、所定の時間を超えても充電が完了しなければ、充電を中止する

放置すると、液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。

**実行**

電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するとき、ビニールテープなどで接点部を絶縁する

他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因になります。

ニコンサービス機関またはリサイクル協力店にご持参いただくか、自治体の規則に従って廃棄してください。

**実行**

電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたら、すぐにきれいな水で洗い流す

放置すると、皮膚のかぶれなどの原因になります。

ご確認ください

● 保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないこととなります。お受け取りにならなかった場合は、ただちに購入店にご請求ください。

● カスタマー登録

下記のホームページからカスタマー登録ができます。

<https://reg.nikon-image.com/>

● カスタマーサポート

下記アドレスのホームページで、サポート情報をご案内しています。

<http://www.nikon-image.com/support/>

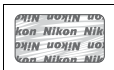
● 大切な撮影の前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

● 本製品を安心してお使いいただくために

本製品は、当社製のアクセサリ（レンズ、スピードライト、バッテリー、チャージャー、ACアダプターなど）に適合するように作られておりますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

- Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL14aには、ニコン純正品であることを示すホログラムシールが貼られています。
- 模倣品のバッテリーをお使いになると、カメラの十分な性能が発揮できないほか、バッテリーの異常な発熱や液もれ、破裂、発火などの原因となります。
- 他社製品や模倣品と組み合わせると、事故・故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。



● 使用説明書および活用ガイドについて

- 使用説明書および活用ガイドの一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 製品の外観・仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご承知ください。
- 使用説明書および活用ガイドの誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 「使用説明書」が破損などで判読できなくなったときは、PDF ファイルを下記のウェブサイトからダウンロードできます。

<http://downloadcenter.nikonimglib.com>

二コンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます（有料）。

- 印刷した「活用ガイド」をご注文いただけます（有料）。詳細はカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

● 著作権について

カメラで著作物を撮影または録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、個人として楽しむなどの目的であっても、実演や興行、展示物などは、撮影や録音が制限されている場合がありますのでご注意ください。

● カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意

SDカード内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には削除されません。譲渡/廃棄した後に市販のデータ修復ソフトなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。SDカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

SDカードを譲渡/廃棄する際は、市販のデータ削除専用ソフトなどを使ってデータを完全に削除するか、初期化後に、SDカードがいっぱいになるまで、空や地面などの画像で置き換えることをおすすめします。SDカードを物理的に破壊して廃棄する場合は、周囲の状況やケガなどに充分ご注意ください。

本製品を譲渡/廃棄する際は、使用者によって本製品内に登録または設定された個人情報を含む内容を、カメラのセットアップメニュー【カメラの初期化】を行って削除してください。

● 電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

● AVC Patent Portfolio Licenseに関するお知らせ

本製品は、お客様が個人使用かつ非営利目的で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。

- (i) AVC規格に従い動画をエンコードすること（以下、エンコードしたものをAVCビデオといいます）
- (ii) 個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、またはAVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手したAVCビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。

詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。

<http://www.mpegla.com> をご参照ください。

☑ アクセサリーについてのご注意

このカメラには、当社製のアクセサリーをお使いいただくことをおすすめします。他社製アクセサリーは、カメラの故障或不具合の原因となることがあります。他社製アクセサリー使用によるカメラの不具合については、保証の対象となりませんので、ご了承ください。なお、このカメラに使用できる別売アクセサリーについての最新情報は、最新のカタログや当社のホームページなどでご確認ください（□xiii）。

Bluetooth機能について

●電波に係わるご注意

- 本製品はBluetooth機能を搭載しています。国や地域によって、法律によりBluetooth機能が使用できない場合があります。ご購入された国以外での使用については、本書の裏表紙に記載のニコン カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。
- 本製品のBluetoothの無線機能は、2.4 GHz 帯の周波数を使用します。

2.4 FH2/XX2

Bluetooth機能：2.4FH2/XX2

本製品の使用周波数は2.4 GHz帯、変調方式はFH-SS、その他の方式、与干渉距離は約20mです。

- 本製品は、「電波法」に基づく技術基準適合認証を受けた無線設備を内蔵し、証明ラベルは無線設備上に表示しています。

以下の行為は法令で罰せられることがあります。

- 本製品の分解/改造
- 本製品から証明ラベルをはがす
- 本製品の使用周波数帯は、以下の機器や無線設備と同じです。
 - 電子レンジなどの産業・科学・医療用機器
 - 工場の製造ライン等の移動体識別用の
 - ① 構内無線局（免許を要する無線局）
 - ② 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
 - アマチュア無線局（免許を要する無線局）

これらの無線設備の近くでは、電波干渉で通信速度の低下、通信距離の短縮、通信の途絶が双方に生じることがあります。

- 本製品で電波干渉を起こさないよう、以下にご注意ください。
 - 使用周波数帯が同じ無線設備が近くにないか、事前に確認する
- その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書の裏表紙に記載されているニコンカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。
- データの送受信は、第三者に傍受される危険性にご留意ください。
データ送受信による情報漏洩には、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品は、電子レンジなどの電気製品、AV機器、OA機器などの電磁波や磁気の発生源の周辺で使わないでください。
 - 雑音が増大したり、通信が途絶したりします。
 - AV機器、OA機器などの受信障害の原因になります。

●本製品の使用上のご注意

本製品はBluetooth機器としてお使いください。

Bluetooth機器以外としての使用による損害は、当社では一切の責任を負いません。

- 医療機器や人命に直接的または間接的に係わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使わないでください。
- Bluetooth 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途では、使用システムの安全設計や故障に対する適切な処置をしてください。

●セキュリティについて

- 本製品は電波を利用して情報を交換するため、電波の届く範囲で自由に無線接続が可能であるという利点がありますが、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。
 - 情報の漏洩：悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、IDやパスワードなどの個人情報情報が漏洩する可能性があります。
 - 不正アクセス：悪意ある第三者が無断でネットワークにアクセスして、なりすまし、情報の改ざんなどの行為を行う可能性があります。また、本製品にセキュリティを設定したにもかかわらず、Bluetoothの仕様上、特殊な方法によりセキュリティが破られることもありますので、ご理解の上で使用ください。
- スマートフォンに使用権限のないネットワークが表示されても、接続しないでください。接続すると、不正アクセスとみなされるおそれがあります。使用権限のあるネットワークだけをお使いください。

●本製品の輸出、持ち出しに係るご注意

本製品は米国輸出管理規則 Export Administration Regulations (EAR) を含む米国内閣令の対象です。EAR の輸出規制国（キューバ、イラン、北朝鮮、スーダン、シリア：変更される可能性があります）以外への輸出や持ち出しは、米国政府の許可は不要です。

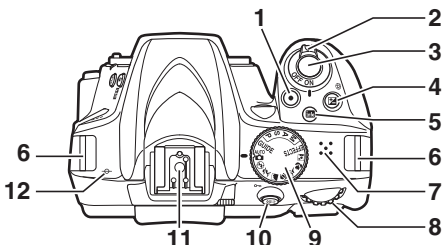
●個人情報の管理および免責事項






- 使用者によって本製品内に登録または設定された、接続設定等の個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いで変化、消失する場合があります。
必要な内容は、お客様の責任において控えを必ずおとりください。
当社の責によらない内容の変化、消失、それらに起因する直接または間接の損害および逸失利益には、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品を譲渡/廃棄するときは、使用者によって本製品内に登録または設定された、接続設定等の個人情報を含む内容を、セットアップメニュー [カメラの初期化] で工場出荷時の設定にリセットしてください (□68)。
- 本製品の盗難や紛失などで、第三者による不正使用の被害が発生しても、当社は一切の責任を負いません。

お使いになる前に

各部の名称

カメラ本体

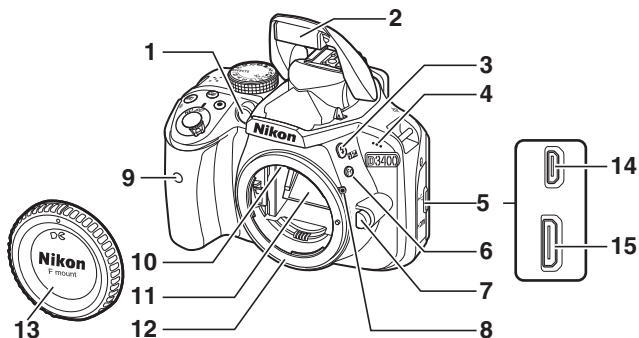


1	動画撮影ボタン	36	8	コマンドダイヤル	
2	電源スイッチ	16、20	9	モードダイヤル	5
3	シャッターボタン	27、28	10	AF () ボタン	
4	 () ボタン	62、64	11	フラッシュ取り付け部 (アクセサリシュー)	
5	 ボタン	7	12	 距離基準マーク	
6	ストラップ取り付け部 (吊り金具)	10			
7	スピーカー				

スピーカーについてのご注意

スピーカーに磁気カードなどの磁気製品を近づけると、記録内容が壊れることがあります。スピーカーに磁気製品を近づけないでください。

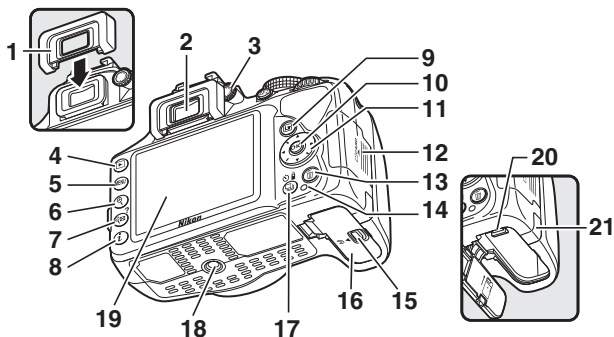
カメラ本体 (つづき)



1	AF補助光ランプ セルフタイマーランプ 赤目軽減ランプ		8	レンズ着脱指標.....	14
2	内蔵フラッシュ	30	9	ML-L3用リモコン受光部.....	80
3	⚡ (B2) ボタン	60	10	レンズ信号接点	
4	マイク (モノラル)	38	11	ミラー	
5	端子カバー		12	レンズマウント.....	14
6	Fn ボタン	68	13	ボディーキャップ	
7	レンズ取り外しボタン	15	14	USB端子	74
			15	HDMI端子	

端子カバーについて

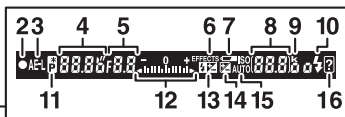
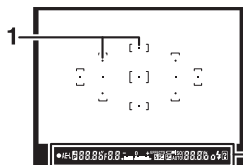
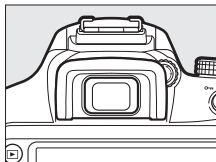
使用しない場合は、必ず端子カバーを閉じてください。ゴミなどが入ると、誤作動の原因となることがあります。



1	接眼目当て		13	🗑️ ボタン.....	34
2	ファインダー接眼窓.....	4、22	14	SDカードアクセスランプ.....	28
3	視度調節ダイヤル.....	22	15	バッテリー室カバー開閉ノブ	
4	▶ ボタン.....	32			11、12
5	MENU ボタン.....	66	16	バッテリー室カバー.....	11、12
6	🔍 ボタン.....	32	17	🔄 (📷/📷) ボタン.....	6
7	🔍 (?) ボタン.....	32、70	18	三脚ネジ穴	
8	i ボタン.....	9	19	画像モニター.....	7、32、39
9	Lv ボタン.....	24、35	20	バッテリーロックレバー	
10	OK ボタン.....	70			11、12
11	マルチセレクター.....	70	21	パワーコネクターカバー	
12	SDカードカバー.....	11、12			

ファインダー

(説明のため、全ての表示を点灯させています)



1	フォーカスポイント表示.....	26	9	1000コマ以上補助表示.....	23
2	ピント表示.....	27	10	レディーライト.....	30
3	AEロックマーク		11	プログラムシフトマーク	
4	シャッタースピード.....	63	12	インジケータ	
5	絞り値.....	63	露出.....	63	
6	スペシャルエフェクト		露出補正.....	64	
モード表示.....	50		フォーカスイド		
7	バッテリー警告表示.....	23	13	フラッシュ調光補正マーク	
8	記録可能コマ数.....	23	14	露出補正マーク.....	64
連続撮影可能コマ数			15	ISO AUTOマーク	
ホワイトバランスプリセット			16	警告表示.....	88
マニュアルデータ取得					
モード表示					
露出補正值.....	64				
フラッシュ調光補正值					
ISO感度.....	9				

モードダイヤル

モードダイヤルを回すと、次の各モードに切り換えられます。

P、S、A、Mモード

P：プログラムオート (☐61)

S：シャッター優先オート (☐61)


A：絞り優先オート (☐61)


M：マニュアル (☐62)

スペシャルエフェクト モード (☐50)


GUIDEモード (☐42)


オートモード


：オートモード (☐24)


：発光禁止オートモード (☐24)


シーンモード


：ポートレートモード
(☐48)

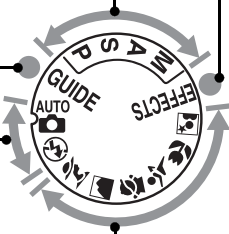
：風景モード (☐49)

：こどもスナップモード
(☐49)



：スポーツモード (☐49)

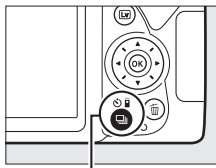
：クローズアップモード
(☐49)

：夜景ポートレート (☐49)









(🕒/📷) (リリースモード) ボタン

 (🕒/📷) ボタンを押すと、シャッターをきる(リリースする)ときの動作(リリースモード)の選択画面が表示されます。マルチセクターでカーソルを動かして、 ボタンを押して決定します。



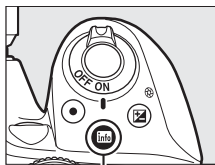
 (🕒/📷) ボタン



	1コマ撮影	シャッターボタンを全押しするたびに1コマずつ撮影できます。
	連続撮影	シャッターボタンを全押ししている間、連続撮影します。
	静音撮影	1コマ撮影に比べて静かに撮影できます。
	セルフタイマー	セルフタイマー撮影ができます。シャッターボタンを全押しすると、カウントダウンが始まり、約10秒後にシャッターがきれます。
	2秒リモコン (ML-L3)	別売のリモコンML-L3の送信ボタンを押すと、2秒後にシャッターがきれます。
	瞬時リモコン (ML-L3)	別売のリモコンML-L3の送信ボタンを押すと、すぐにシャッターがきれます。

インフォ画面 (説明のため、全ての表示を点灯させています)

info (インフォ) ボタンを押すと、画像モニターに次のようなインフォ画面が表示されます。



info ボタン



1 撮影モード

Ⓟ (オート) または **Ⓡ** (発光禁止オート) で撮影する..... 24
シーンに合わせて撮影する..... 48
特殊効果をつけて撮影する..... 50
撮影モード**P**、**S**、**A**、**M**を使う..... 60

2 Eye-Fi通信マーク

3 Bluetooth通信マーク

機内モード..... 68

4 ヴィネットコントロール

マーク..... 67

5 日付写し込み設定マーク..... 68

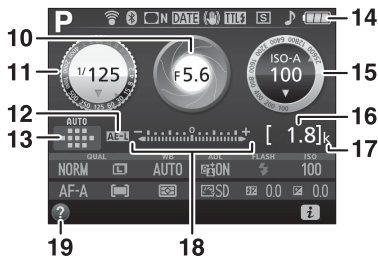
6 手ブレ補正マーク..... 67

7 フラッシュ発光方式マーク

スピードライト調光補正マーク

8 レリーズモード..... 6

9 電子音マーク..... 68



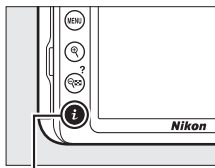
<p>10 絞り値 63 絞りイメージ 63</p> <p>11 シャッタースピード 63 シャッタースピードイメージ... 63</p> <p>12 AEロックマーク</p> <p>13 AFエリアモード表示 67 フォーカスポイント 26</p> <p>14 バッテリー残量表示 23</p> <p>15 ISO感度 9 ISO感度イメージ ISO AUTOマーク</p>	<p>16 記録可能コマ数 23 ホワイトバランスプリセットマ ニユアルデータ取得モード表示</p> <p>17 1000コマ以上補助表示 23</p> <p>18 インジケーター 露出 63 露出補正 64</p> <p>19 ヘルプあり表示 88</p>
--	---

画像モニター（インフォ画面）を消灯するには

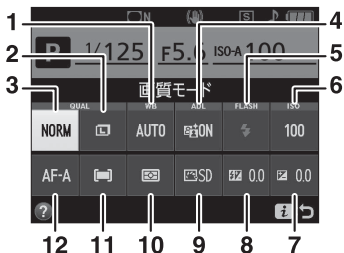
- シャッターボタンを半押しする
 - インフォ画面の表示中に、**Info** ボタンを押す
- 操作を行わないまま約8秒経過したとき（画像モニターが消灯するまでの時間は、セットアップメニュー [パワーオフ時間]（□68）で変更できます）。

撮影時の設定を変更する

ファインダー撮影時に*i*ボタンを押すと、インフォ画面下部に表示されている撮影時の設定を変更できる画面に切り替わります。マルチセレクターでカーソルを動かし、項目を選んでOKボタンを押すと、選んだ項目の設定画面が表示されます。



- ライブビュー時も*i*ボタンを押して設定のiボタン
変更ができます。

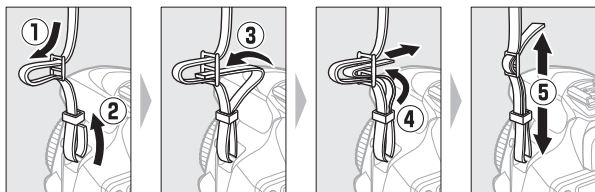


1	ホワイトバランス	光源の種類に合わせてホワイトバランスを設定できます。
2	画像サイズ	画像を記録するときの画像サイズを設定できます。
3	画質モード	画像を記録するときのファイル形式と画質を設定できます。
4	アクティブ D-ライティング	白とびや黒つぶれを軽減した、見た目のコントラストに近い画像になります。
5	フラッシュモード	フラッシュのモードを設定できます。
6	ISO感度	ISO感度を設定できます。
7	露出補正	画像全体を意図的に明るくしたり、暗くしたりできます。
8	フラッシュ調光補正	フラッシュの発光量を補正できます。
9	ピクチャー コントロール	記録する画像の仕上がり(ピクチャーコントロール)を、撮影シーンや好みに合わせて選べます。
10	測光モード	適正な露出を得るためにカメラが被写体の明るさを測る方法(測光モード)を設定できます。
11	AFエリアモード	オートフォーカスでピントを合わせるフォーカスポイントの選び方を設定できます。
12	フォーカスモード	フォーカスモード(ピントの合わせ方)を選べます。

撮影前の準備をする

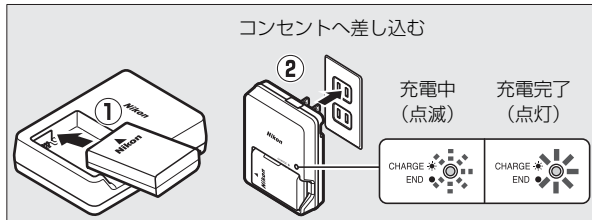
ストラップを取り付ける (2カ所)

ストラップの取り付け手順は次の通りです。



バッテリーを充電する

フル充電するには約1時間50分かかります (残量の少ないバッテリーの場合)。



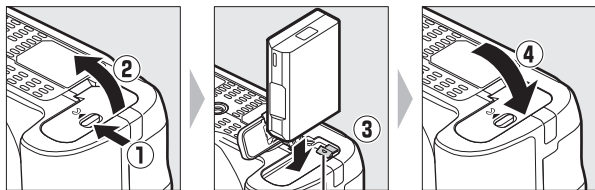
☑ チャージャーの「CHARGE」ランプが速く (1秒間に8回) 点滅する場合の原因と対処方法

- **バッテリーのセットミス**：チャージャーをコンセントから抜いて、バッテリーを取り外し、チャージャーにセットし直してください。
- **指定温度外での使用**：チャージャーを指定温度範囲内 (0℃～40℃) でお使いください。

上記の処置をしても不具合が続く場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜いて、充電を中止してください。販売店またはニコンサービス機関にチャージャーおよびバッテリーをお持ちください。

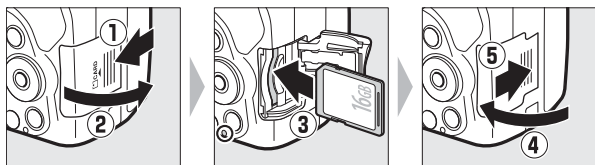
カメラにバッテリーとSDカードを入れる

- バッテリーやSDカードをカメラに入れたり、カメラから取り出したりするときは、必ずカメラの電源スイッチがOFFの位置にあることを確認してください。
- バッテリーとSDカードは、正しい向きで入れてください。
- オレンジ色のバッテリーロックレバーをバッテリー側面で押しながら、バッテリーを奥まで入れると、バッテリーロックレバーがバッテリーに掛かって固定されます。



バッテリーロックレバー

- SDカードは、カチッと音がするまで挿入してください。



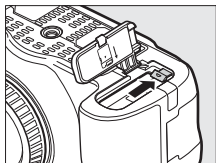
☑ バッテリーの使用上のご注意

お使いになる前に、必ず「安全上のご注意」(□ix~xii)、「カメラとバッテリーの取り扱い上のご注意」(□83~87)をお読みになり、記載事項をお守りください。

■ バッテリーとSDカードの取り出し方

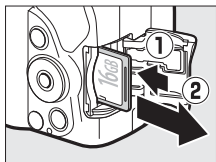
バッテリーを取り出すときは

電源をOFFにしてから、バッテリー室カバーを開けてください。バッテリーロックレバーを矢印の方向に押し、バッテリーが少し飛び出しますので、引き抜いて取り出してください。



SDカードを取り出すときは

SDカードカバーを開ける前に、SDカードアクセスランプの消灯を確認して、電源をOFFにしてください。SDカードカバーを開けて、SDカードを奥に押し込むと (①)、カードが押し出されるので、引き抜いて取り出してください (②)。



🔪 時計用電池について

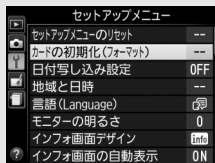
カメラの内蔵時計は、バッテリーとは別の時計用電池で作動します。カメラにバッテリーを入れると、時計用電池が充電されます。フル充電するには約3日間かかります。充電すると、約1カ月の間時計を動かすことができます。液晶モニターに [日時未設定] と表示された場合は、内蔵時計の設定が初期化されているため、撮影日時が正しく記録されません。もう一度日時設定を行ってください。

✔ SDカード取り扱い上のご注意

- カメラの使用後は、SDカードが熱くなっていることがあります。取り出しの際はご注意ください。
- SDカードの初期化中や画像の記録または削除中、パソコンとの通信時には、次の操作をしないでください。記録されているデータの破損やSDカードの故障の原因となります。
 - SDカードの着脱をしないでください
 - カメラの電源をOFFにしないでください
 - バッテリーを取り出さないでください
 - ACアダプターを抜かないでください
- 端子部に手や金属で触れないでください。
- 無理な力を加えないでください。破損のおそれがあります。
- 曲げたり、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 熱、水分、直射日光を避けてください。
- パソコンで初期化しないでください。

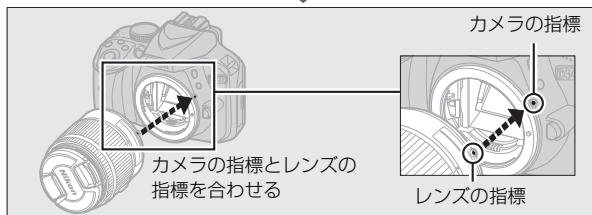
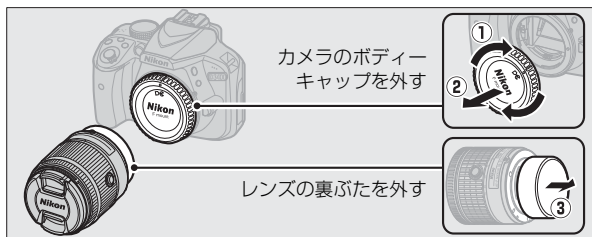
✔ SDカードのフォーマット

このカメラに初めて入れるSDカードや、他の機器でフォーマットされたSDカードは、セットアップメニュー [カードの初期化 (フォーマット)] (□68) で、画面の指示に従ってフォーマットしてください。**SDカードを初期化すると、カード内のデータは全て削除されます。**必要なデータがある場合は、初期化する前にパソコンなどに保存してください。



レンズを取り付ける

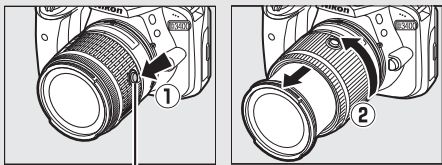
- ほこりなどがカメラ内部に入らないように注意してください。



- 撮影する前に、レンズキャップを取り外してください。

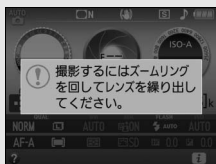
④ ズームリングボタンの付いたレンズをお使いの場合

ズームリングボタンを押しながら ①、ズームリングを矢印の方向に回してください ②。ズームリングのロックが解除され、レンズが繰り出します。



ズームリングボタン

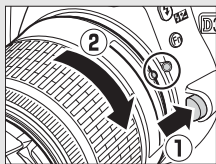
- レンズを収納した状態では撮影できません。レンズを繰り出さずに電源をONにして警告メッセージが表示された場合、撮影できる位置までズームリングを回すと、警告メッセージが消えます。



④ レンズを取り外すには

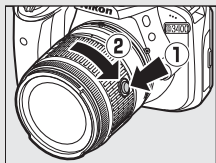
カメラの電源をOFFにしてから、カメラ前面のレンズ取り外しボタンを押しながら ①、レンズを矢印の方向にいっぱいまで回し ②、引き抜いてください。

- レンズを取り外した後は、カメラのボディキャップとレンズの裏ぶたをそれぞれ取り付けてください。



④ ズームリングボタンの付いたレンズの収納方法

• カメラを使わないときは、レンズを収納してコンパクトにすることができます。レンズを収納するには、ズームリングボタンを押しながら ①、ズームリングを矢印の方向に回してください ②。ズームリング上の指標を「L」(ロック)の位置に合わせると、ズームリングがロックされてレンズが収納されます。



- レンズの着脱時にズームリングボタンを押さないようご注意ください。
- レンズを取り外す前にレンズを収納してください。

電源をONにして、カメラをセットアップする

■ スマートフォンまたはタブレットを使ってセットアップする場合

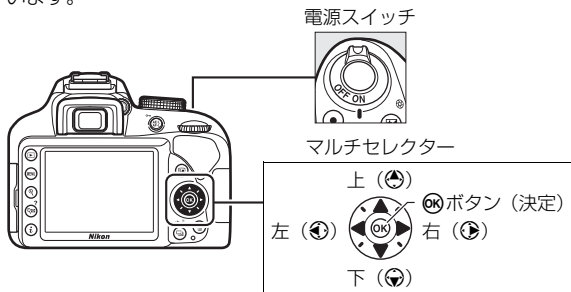
- スマートフォンまたはタブレット（ここでは「スマートフォン」を使って説明します）にあらかじめSnapBridgeアプリをインストールしてください。SnapBridgeアプリのダウンロードについては、表紙の裏ページにあるSnapBridgeの紹介ページをご覧ください。
- スマートフォンのBluetoothの設定を有効にしてください。カメラとの接続はSnapBridgeアプリを使って行います。スマートフォンのBluetooth設定画面からは接続できません。
- 途中で電源が切れないよう、十分に残量のある電池をお使いください。
- 残量のあるメモリーカードをカメラに入れてください。
- カメラおよびスマートフォンの画面は、実際の画面と異なる場合があります。
- ここでは、SnapBridgeアプリバージョン2.0を使って説明しています。
- 最新の接続方法は「SnapBridge接続ガイド」（PDF形式）をダウンロードセンターからダウンロードしてご覧ください。

<http://downloadcenter.nikonimglib.com>



1 カメラの電源をONにする

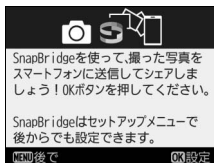
- 設定項目の変更や決定にはマルチセレクターおよびOKボタンを使います。



2 カメラ：右の画面が表示されたら、

Ⓚ ボタンを押す

- 右の画面が表示されない場合や、もう一度セットアップしたい場合は、セットアップメニューの「スマートフォンと接続」を選んでⓀ ボタンを押してください。
- スマートフォンを使わずにカメラをセットアップする場合は、日付と時刻を手動で設定してください (☐20)。

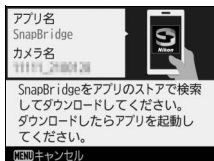


3 カメラ/スマートフォン：ペアリングを開始する

- カメラとスマートフォンをBluetoothで接続する設定のことを、ここではペアリングと言います。

4 カメラ：右の画面が表示されていることを確認する

- スマートフォンを用意して次の手順に進んでください。



5 スマートフォン：SnapBridgeアプリを起動し、[カメラとペアリング]をタップする

- カメラを選択する画面が表示された場合は、接続するカメラを選んでタップしてください。



6 スマートフォン：[カメラとペアリング] 画面でカメラ名をタップする

- iOSの場合は、はじめて接続するとき手順説明の画面が表示されます。内容を確認して[確認しました]をタップします（表示されていない場合は、画面を下にスクロールしてください）。アクセサリーを選択する画面が表示されたら、再度カメラ名をタップします（カメラ名の表示に時間がかかることがあります）。



7 カメラ/スマートフォン：カメラとスマートフォンに同じ番号（6桁）が表示されていることを確認する

- iOSの場合、OSのバージョンによってはスマートフォンに番号が表示されないことがあります。その場合は手順8へお進みください。



8 カメラ/スマートフォン：カメラのOKボタンとSnapBridgeアプリの【ペア設定する】を押す

- ご使用のスマートフォンの機種やOSのバージョンによっては、表示が異なる場合があります。



9 カメラ/スマートフォン：接続設定を完了する



- カメラ：右の画面が表示されたら、OKボタンを押してください。



- スマートフォン：右の画面が表示されたら、【OK】をタップしてください。



10 カメラ：画面の指示に従ってセットアップを完了する

- [位置情報をスマートフォンから取得しますか?] で [する] を選ぶと、撮影画像に位置情報を記録できます。スマートフォン本体の位置情報機能を有効にし、SnapBridgeアプリの  タブで [自動連携設定] → [位置情報を同期] を有効にしてください。
- [日時をスマートフォンと同期させますか?] で [する] を選ぶと、カメラの内蔵時計の設定をスマートフォンの日時設定と同期させることができます。SnapBridgeアプリの  タブで [自動連携設定] → [時刻情報を同期] を有効にしてください。


カメラとスマートフォンの接続が完了しました。

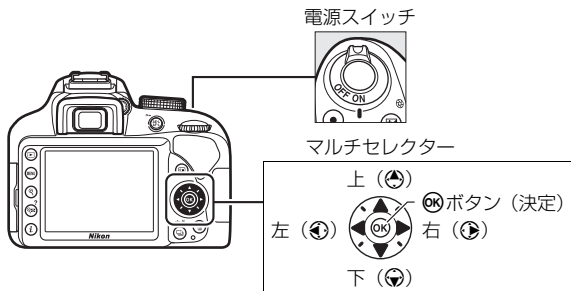
カメラで撮影した画像がスマートフォンに自動送信されます。

■ スマートフォンまたはタブレットを使わずに セットアップする場合

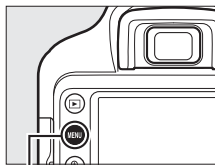
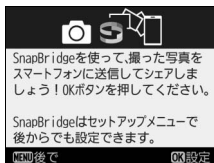
日付と時刻は手動で設定します。

1 カメラの電源をONにする

- 設定項目の変更や決定にはマルチセレクターおよび  ボタンを使います。



2 右の画面が表示されたら、MENUボタンを押す



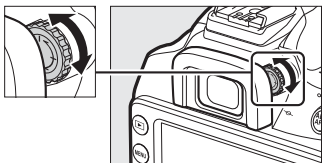
3 日付と時刻を設定する

- ご購入後、初めて電源をONにすると、カメラの内蔵時計の日付と時刻を設定する画面が表示されます。日時の設定が完了するまで、撮影や他の設定はできません。
- マルチセレクターの \odot または \blacktriangle を押して、選択中の項目の数値を合わせ、 \blacktriangle または \blacktriangleright で項目を移動します。
- 日付と時刻の設定を完了したら、 \odot ボタンを押します。

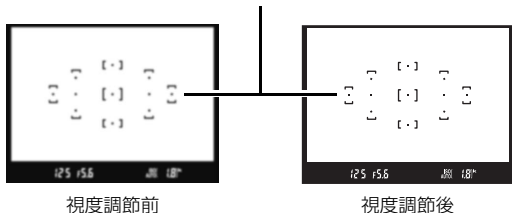


ファインダーを見やすくする

- ファインダーで構図を決めながら撮影する場合は、あらかじめ、ファインダー内がはっきり見えるように視度調節ダイヤルを回して調節してください。
- 爪や指先で目を傷つけないようにご注意ください。
- レンズキャップを取り外し、ファインダーをのぞきながら視度調節ダイヤルを回し、フォーカスポイントが最もはっきり見えるように調節してください。



フォーカスポイント

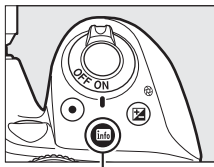


撮影前の準備が完了しました。すぐに撮影する場合は、□24へ進みます。

バッテリー残量と記録可能コマ数を確認する

info ボタンを押すと、バッテリーの残量とSDカードの記録可能コマ数(これから撮影できる枚数)をインフォ画面(□7)で確認できます。

バッテリー残量



info ボタン



記録可能コマ数

バッテリー残量について

画像モニター	ファインダー	意味
	—	残量は充分に残っています。
	—	残量が減り始めました。
		残量は残りわずかです。
 (点滅)	 (点滅)	残量がなくなりました。バッテリーを充電してください。

- バッテリー残量が少なくなると、ファインダーにバッテリー警告が表示されます。
- **info** ボタンを押してもインフォ画面が表示されない場合、バッテリー残量がありません。

記録可能コマ数について

記録可能コマ数が1000コマ以上あるときは、1000を意味する「k」マークが点灯します。

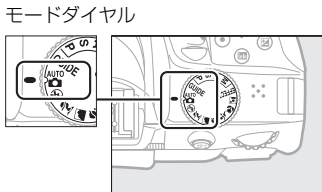
かんたんな撮影と再生

かんたんに静止画を撮影する (^{AUTO}オート/Ⓜ 発光禁止オート)

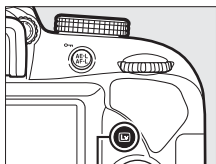
撮影モード^{AUTO}（オート）またはⓂ（発光禁止オート）を使うと、カメラまかせの簡単な操作で静止画撮影を楽しむことができます。^{AUTO}の場合は、必要に応じてフラッシュが光ります。フラッシュを光らせずに撮影したいときは、Ⓜで撮影してください。



1 カメラ上面のモードダイヤルを回して^{AUTO}またはⓂを指標に合わせる



- 静止画の撮影方法には、ファインダーをのぞきながら撮影するファインダー撮影と、画像モニターを見ながら撮影するライブビュー撮影があります。ライブビュー撮影を開始する場合は、**Lv** ボタンを押します。



Lv ボタン



ファインダー撮影



ライブビュー撮影

2 カメラを構える

ファインダー撮影

- 脇を軽く締め、右手でカメラのグリップを包み込むようにしっかりと持ち、左手でレンズを支えます。



ライブビュー撮影

- 右手でカメラのグリップを包み込むようにしっかりと持ち、左手でレンズを支えます。



縦位置で撮影するときは

人物などを縦位置で撮影する場合は、カメラを縦位置に構えます。



ファインダー撮影

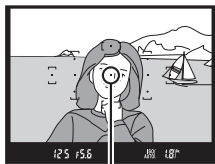


ライブビュー撮影

3 構図を決める

ファインダー撮影

- ファインダーをのぞいて、構図を決めてください。
- 11点（11カ所）あるフォーカスポイントの少なくとも1つに、被写体が重なるようにしてください。



フォーカスポイント

ライブビュー撮影

- 被写体を画面の中央付近に配置します。
- 初期設定では、カメラが人物を認識した場合、認識した顔の位置にフォーカスポイントが表示されます。



フォーカスポイント

🔪 ズームレンズの使い方

被写体を大きく写したいときはズームリングを望遠側（焦点距離目盛の大きい数値側）に、広い範囲を写したいときはズームリングを広角側（焦点距離目盛の小さい数値側）に回してください。

- 撮影するときには、ズーミングして構図を決めてからピント合わせを行ってください。

望遠側



広角側

4 シャッターボタンを軽く押して（半押しして）、ピントを合わせる

ファインダー撮影

- ピントが合うと、ピピッと電子音が鳴り、ファインダー内のピント表示（●）が点灯します（被写体が動いているときは、電子音が鳴らない場合があります）。



ピント表示

ファインダー内ピント表示	意味
●（点灯）	被写体にピントが合っています。
●（点滅）	オートフォーカスでのピント合わせができません。

- 暗い場所などでシャッターボタンを半押しすると、AF補助光が照射されたり内蔵フラッシュが上がる場合があります。

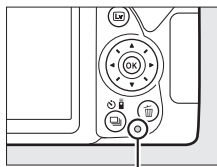
ライブビュー撮影

- ピントが合うと、フォーカスポイントが緑色で点灯します。フォーカスポイントは、オートフォーカス作動中は緑色で点滅し、ピントが合わないと赤色で点滅します。



5 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込んで（全押しして）撮影する

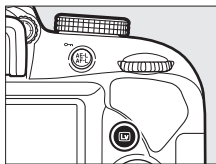
- SDカードアクセスランプが点灯している間は、画像を記録しています。SDカードやバッテリーを取り出さないでください。
- 撮影した画像が画像モニターに数秒間表示されます。



SDカードアクセスランプ



- ライブビューを終了する場合は、**[Lv]** ボタンを押してください。



シャッターボタンの半押し

シャッターボタンは、2段階に押し込むようになっています。まず、シャッターボタンを軽く抵抗を感じるころまで押し、そのまま指を止めることを、「シャッターボタンを半押しする」といいます。次に、そのまま深く押し込む（これを「シャッターボタンを全押しする」といいます）と、シャッターがきれます。



- 再生中にシャッターボタンを半押しすると、すぐに次の撮影ができます。


🔍 ファインダー撮影時の半押しタイマーについて

このカメラには、バッテリーの消費を抑えるための「半押しタイマー」という機能があります。半押しタイマーは、シャッターボタンを半押しするとオンになり、何も操作が行われないまま約8秒経過するとオフになります。半押しタイマーがオフになると、ファインダー内表示が消灯します。もう一度シャッターボタンを半押しすると、半押しタイマーがオンになり、元の状態に戻ります。半押しタイマーの作動時間は、セットアップメニュー【パワーオフ時間】(□68)で変更できます。





半押しタイマーオフ



125 f5.6 ISO AUTO 1.0" 









半押しタイマーオン

🔍 おまかせシーン

モードダイヤルが  または  のときにライブビュー撮影に切り換え、オートフォーカス撮影でシャッターボタンを半押しすると「おまかせシーン」になります。

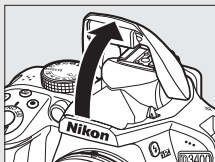
- おまかせシーンでは、カメラが撮影シーンや被写体に合わせて最適な撮影モードを決定します。
- 画像モニターの左上に、カメラが選んだ撮影モードのアイコンが表示されます。



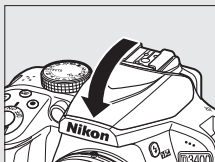
 ポートレート	人物を認識した場合
 風景	自然の風景や街並みを認識した場合
 クローズアップ	近接位置の被写体を認識した場合
 夜景ポートレート	夕景や夜景をバックに人物を認識した場合
 オート	上記のシーンを認識しなかった場合
 発光禁止オート	 または  に適したシーンの場合

内蔵フラッシュについて

撮影モード \square では、被写体が暗い場合や逆光の場合に、シャッターボタンを半押しすると必要に応じて自動的に内蔵フラッシュが上がります。ファインダー内表示または画像モニターに \square （レディーライト）が点灯しているときは、シャッターボタンを全押しすると、内蔵フラッシュが発光します。内蔵フラッシュが上がっている状態で \square が点灯していないときは、フラッシュが充電中のため、撮影できません。



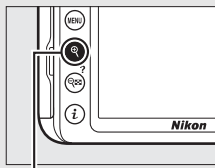
内蔵フラッシュを収納するときは、カチッと音がするまで手で軽く押し下げます。フラッシュを使わないときは常に収納してください。



ライブビュー撮影時の拡大表示

ライブビュー撮影時に \square ボタンを押すと、フォーカスポイントを中心に拡大表示できます（最大約8.3倍）。マルチセレクターを動かすと、フォーカスポイントが移動します。

- \square ボタンを押すごとに拡大率が上がり、 \square (?) ボタンを押すごとに拡大率が下がります。
- 拡大表示中は、画面の右下に構図のどの部分を拡大しているかを表すナビゲーションウィンドウ（グレーの枠）が表示されます。



\square ボタン



ナビゲーションウィンドウ

✔ ライブビュー撮影時のご注意

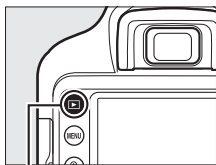
- 画像モニターの表示に次のような現象が発生することがありますが、実際に記録される画像に影響はありません。
 - 動きのある被写体が歪んで表示される
 - 電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体が歪んで表示される
 - カメラを左右に動かした場合、画面全体が歪んで見える
 - ジャギー、偽色、モアレ、輝点が発生する
 - 周囲でスピードライトやフラッシュなどが発光されたり、イルミネーションなどの点滅する光源がある場合、画面の一部が明るくなったり、明るい横帯が発生する
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、ライブビュー撮影時に画面にちらつきや横縞が生じる「フリッカー現象」は、セットアップメニューの【フリッカー低減】(□68)で低減できますが、設定しているシャッタースピードによっては、撮影した静止画に記録されることがあります。
- 次のような場合は、ライブビュー撮影を終了します。
 - モードダイヤルを**GUIDE**に変更した場合
 - モードダイヤルを**GUIDE**から他のモードへ変更した場合
- 適正露出や画像に影響を与える接眼部からの逆入射光を防ぐため、手などでファインダー接眼部をおおうか、別売のアイピースキャップを取り付けることをおすすめします。
- ライブビュー撮影時は、太陽など強い光源にカメラを向けないでください。内部の部品が破損するおそれがあります。

✔ ライブビュー残り時間のカウントダウンについて

- ライブビューが自動的に終了する30秒前から、画像モニターの左上にカウントダウンを表示します。
- セットアップメニュー【パワーオフ時間】(□68)の設定により終了する場合は、終了30秒前から黒字で表示し、終了5秒前から赤字で表示します。
- カメラ内部の温度上昇により終了する場合は、終了30秒前から赤字で表示します。撮影条件によっては、ライブビューの開始後すぐにカウントダウンが始まることがあります。

撮影した画像を再生する（1コマ表示モード）

▶ボタンを押すと、撮影した画像が表示されます。



▶ボタン

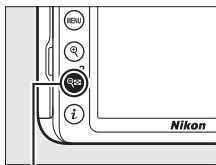


- マルチセレクターの ◀ または ▶ を押すと、他の画像を表示できます。

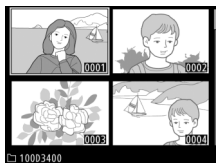


■ 複数の画像を一覧表示する（サムネイル表示モード）

- 1コマ表示モードで Q(?) ボタンを押すと、ボタンを押すたびに4コマ表示、9コマ表示、72コマ表示の順に切り換えられます。
- Q ボタンを押すと、表示コマ数が少なくなります。
- マルチセレクターまたはコマンドダイヤルで画像を選び、OK ボタンを押すと1コマ表示モードで画像を表示します。



Q(?) ボタン



■■ 撮影した日付ごとに画像を表示する（カレンダー表示モード）

- 72コマ表示時に🔍(?) ボタンを押すと、撮影した日付ごとに縮小画像を表示する「カレンダー表示モード」に切り替わります。
- マルチセクターで「カレンダー表示」上 カレンダー表示の日付を選んで、🔍(?) ボタンを押すと、指定した日付に撮影した画像を選べます。
- 「カレンダー表示」上の日付を選んで🔍 ボタンを押すと、72コマ表示のサムネイル表示に切り替わります。

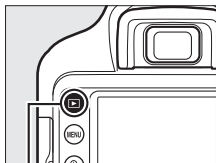


撮影日サムネイル表示

画像を削除する

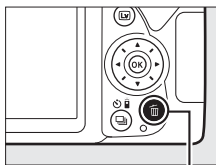
表示中の画像を削除します。削除した画像は元には戻せないのをご注意ください。

1 削除したい画像を表示する



▶ボタン

2 削除ボタンを押す

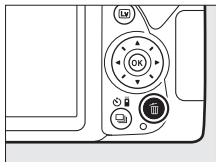


🗑️ボタン



3 もう一度🗑️ボタンを押す

- 表示中の画像が削除されます。

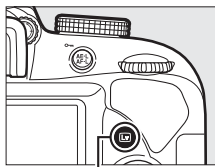


動画を撮影する

ライブビューにすると動画を撮影できます。

1 Lv ボタンを押す

- 画像モニターに被写体が表示されます。



Lv ボタン

2 カメラを構える

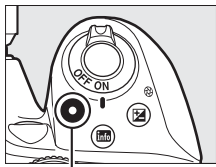
- 右手でカメラのグリップを包み込むようにしっかりと持ち、左手でレンズを支えます。



3 シャッターボタンを軽く押して (半押しして)、ピントを合わせる

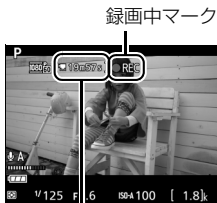


4 動画撮影ボタンを押して、撮影を始める



動画撮影ボタン

- 録画中は録画中マークが画像モニターに表示されます。SDカードに記録できる残り時間の目安も画像モニターで確認できます。

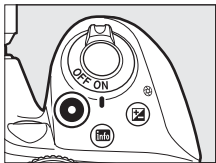


録画中マーク


残り時間

5 もう一度動画撮影ボタンを押して、撮影を終了する

- ライブビューを終了する場合は、**[Lv]** ボタンを押します。



動画撮影について

- 使用しているSDカードの書き込み速度によっては、最長記録時間に満たないで撮影が自動的に終了する場合があります。
- 動画撮影時は、内蔵フラッシュと別売のスピードライトは発光しません。
-  (動画記録禁止) マークが表示されているときは、動画撮影できません。
- 1つの動画ファイルで記録可能な最大ファイルサイズは4GBです。
- 次のような場合は、動画撮影は自動的に終了します。
 - 最長記録時間に達した場合
 - SDカードの残量がなくなった場合
 - モードダイヤルを回した場合

📝 最長記録時間

1回の撮影で記録できる動画の最長記録時間は、撮影メニュー [動画の設定] (□67) の [動画の画質] と [画像サイズ/フレームレート] の組み合わせによって異なります。

[動画の画質]	[画像サイズ/フレームレート] ※1	最長記録時間※2
高画質	 1920×1080 60p	10分
	 1920×1080 50p	
	 1920×1080 30p	20分
	 1920×1080 25p	
	 1920×1080 24p	
	 1280× 720 60p	
	 1280× 720 50p	
標準	 1920×1080 60p	20分
	 1920×1080 50p	
	 1920×1080 30p	29分59秒
	 1920×1080 25p	
	 1920×1080 24p	
	 1280× 720 60p	
	 1280× 720 50p	

※1 60p : 59.94コマ/秒 (fps)、50p : 50コマ/秒、30p : 29.97コマ/秒、
25p : 25コマ/秒、24p : 23.976コマ/秒

※2 📷の場合、最長記録時間は3分です。

📝 ライブビュー残り時間のカウントダウンについて

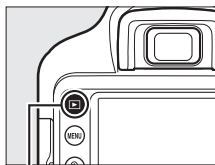
- 自動的に動画撮影を終了する30秒前から、液晶モニターの上にカウントダウンを表示します。
- 撮影条件によっては、動画撮影を開始後すぐにカウントダウンが始まる場合があります。
- 動画記録中にカウントダウンが始まった場合は、液晶モニターの上に表示されている動画残り記録時間にかかわらず、ライブビュー残り時間のカウントダウン時間で動画撮影を自動的に終了します。

▼ 動画撮影時のご注意

- 動画撮影中の画像モニターの表示に、次のような現象が発生する場合があります。これらの現象は撮影した動画にも記録されません。
 - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画面にちらつきや横縞が発生する
 - 動きのある被写体が歪む
 - 電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体が歪む
 - カメラを左右に動かした場合、画面全体が歪む
 - ジャギー、偽色、モアレ、輝点が発生する
 - 周囲でスピードライトやフラッシュなどが発光されたり、イルミネーションなどの点滅する光源がある場合、画面の一部が明るくなったり、明るい横帯が発生する
- 動画撮影時、太陽など強い光源にカメラを向けないでください。内部の部品が破損するおそれがあります。
- マイク（□2）を指などでふさがないようにしてください。音声記録できない場合があります。
- 次の場合は、レンズの動作音が録音されることがあります。
 - オートフォーカス作動中
 - VRレンズ使用時にVR（手ブレ補正）をONにした場合

撮影した動画を再生する

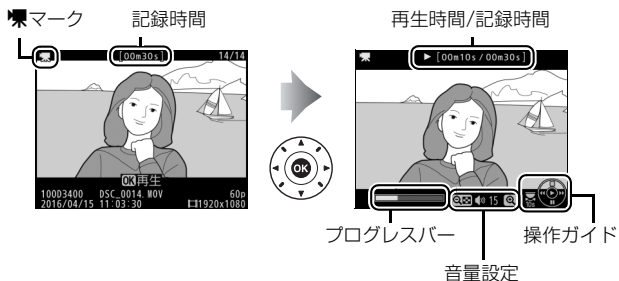
▶ボタンを押して、**▶**マークが表示されている画像を表示します（1コマ表示モード）。



▶ボタン



OKボタンを押して動画を再生します（プログレスバーで再生中の位置の目安を確認できます）。



■■ 動画再生時の操作方法

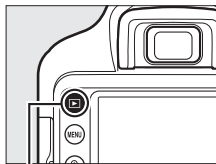
一時停止する		マルチセレクターの  を押すと、一時停止します。
再生を再開する		一時停止中または早送り/早戻し中に  ボタンを押すと、動画再生を再開します。
早戻しする/ 早送りする		<ul style="list-style-type: none"> 再生中に  を押すと早戻し、 を押すと早送りします。同じ方向のボタンを押すごとに、早戻し/早送りの速度が2倍、4倍、8倍、16倍に切り替わります。  を押し続けると、最初のコマに移動し、 を押し続けると、最後のコマに移動します。 先頭フレームには  アイコンが、最終フレームには  アイコンが、画面右上に表示されます。
スロー再生する		一時停止中に  を押すとスロー再生します。
コマ戻しする/ コマ送りする		<ul style="list-style-type: none"> 一時停止中に  または  を押すと、コマ戻し/コマ送りします。  または  を押し続けると連続でコマ戻し/コマ送りします。
10秒進める/ 10秒戻す		コマンドダイヤルを回すと、10秒前または後ろに移動します。
音量を調節する		 ボタンを押すと音量が大きくなり、  (?) ボタンを押すと小さくなります。
再生を終了する	 / 	 ボタンまたは  を押すと、1コマ表示モードに戻ります。

動画を削除する

表示中の動画を削除します。削除した動画は元には戻せないのでご注意ください。

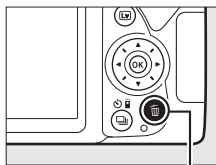
1 削除したい動画を表示する

- マークが表示されている画像が動画です。



▶ボタン

2 削除ボタンを押す

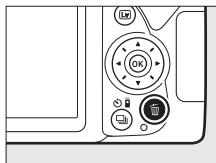


削除ボタン



3 もう一度削除ボタンを押す

- 表示中の動画が削除されます。



GUIDE (ガイド) モードを使う

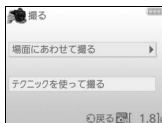
ガイドモード

GUIDEモードでは、よく使う機能や使うと便利な機能を画像モニターに表示されるガイドモードを使って設定できます。カメラ上面のモードダイヤルをGUIDEに合わせると、次のようなガイドモードのトップ画面を表示します。



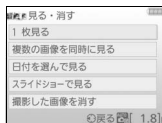
撮る

状況や被写体に合わせて撮影できるようにカメラを設定できます。



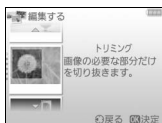
見る・消す

撮影した画像を確認したり、不要な画像を削除できます。



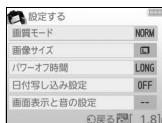
編集する

撮影した画像を編集できます。



設定する

よく使う機能や使うと便利な機能の設定を変更できます。



GUIDEモードのメニュー一覧

モードダイヤルを**GUIDE**に合わせると表示される、ガイドモードのトップ画面でメニューを選んで**OK**ボタンを押します。



■ [撮る] メニュー

場面にあわせて撮る

- おまかせで撮る
- フラッシュを使わずに撮る
- 遠くの被写体を撮る
- 花や小物をアップで撮る
- 子供の寝顔を撮る
- 動く被写体を撮る
- 風景や街並みを撮る
- ポートレートを撮る
- 夜景をバックに人物を撮る
- 夜景を撮る

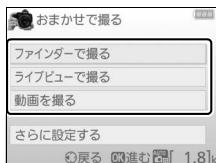
テクニックを使って撮る

- A** GUIDE
 - 背景をぼかして撮る
 - 隅々までシャープに撮る
絞り値を設定して撮影します。
- S** GUIDE
 - 人物の動きを止めて撮る
 - 乗物の動きを止めて撮る
 - 水の流れを撮る
シャッタースピードを設定して撮影します。
- P** GUIDE
 - 夕日を赤く撮る*
ホワイトバランスを調整して撮影します。
 - 明るい雰囲気です撮る*
 - 落ち着いた雰囲気です撮る*
露出を補正して撮影します。

※設定した値が、[テクニックを使って撮る]の他の項目に反映されます。設定をリセットするには電源をOFFにし、もう一度ONにしてください。

撮影を始めるには

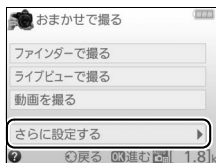
次のいずれかを選んで \odot ボタンを押すと、撮影を開始できます。



- ファインダーで撮る
- ライブビューで撮る
- 動画を撮る

さらに設定するには

[さらに設定する] を選んで \blacktriangleright を押すと、次の項目を設定できます*。



- フラッシュの設定
 - フラッシュモード
 - フラッシュ調光補正
- レリーズモード
- ISO感度設定
 - ISO感度
 - 感度自動制御
- ピクチャーコントロール
- 露出補正
- ホワイトバランス

*1つ前の画面で設定した内容によって設定できる内容が異なります。

GUIDEモードの「撮る」について

次の場合は、「おまかせで撮る」の設定になります。

- 電源をOFFにしてもう一度ONにしたとき
- モードダイヤルを**GUIDE**に合わせてから、何も設定しないで撮影するとき
- 他のモードに切り換えてから**GUIDE**モードに戻ったとき

■ [見る・消す] メニュー

1 枚見る

複数の画像を同時に見る

日付を選んで見る

スライドショーで見る

撮影した画像を消す

■ [編集する] メニュー

トリミング

フィルター効果 (クロススクリーン)

フィルター効果 (ソフト)

フォトイラスト

ミニチュア効果

セレクトカラー

■ [設定する] メニュー ※1

画質モード

画像サイズ

パワーオフ時間

日付写し込み設定

画面表示と音の設定

モニターの明るさ

インフォ画面の背景色

インフォ画面の自動表示

電子音設定

動画の設定

画像サイズ/フレームレート

動画の画質

録音設定

風切り音低減

フリッカー低減

再生画面設定

時計と言語 (Language)

カードの初期化 (フォーマット)

HDMI

機内モード

スマートフォンと連携

Eye-Fi送信機能※2

カードなし時リリース

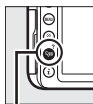
※1 **GUIDE** モードで設定した内容は、他の撮影モードには反映されません ([フリッカー低減]、[時計と言語 (Language)]、[カードの初期化 (フォーマット)]、[HDMI]、[機内モード]、[スマートフォンと連携]、[Eye-Fi送信機能]、[カードなし時リリース] を除く)。

※2 **Eye-Fi送信機能** は、この機能に対応したEye-Fiカードを挿入したときのみ表示されます。

GUIDEモードでの操作方法

<p>ガイドモードの トップ画面を 表示する</p>		<p>MENUボタンを押します。</p>
<p>消灯した画面を点 灯させる</p>		<p>MENUボタンを押します。</p>
<p>メニューを選ぶ</p>		<p>ガイドモードのトップ画面でマルチセクターの$\uparrow$$\downarrow$$\leftarrow$$\rightarrow$を押してメニューを選択します。</p>
<p>項目を選ぶ</p>		<p>\uparrowと\downarrowを押して項目を選択します。</p>
		<p>次のような画面のときは、$\uparrow$$\downarrow$$\leftarrow$$\rightarrow$を押して項目を選択します。</p>
<p>選んだ項目を 設定する</p>		<p>OKボタンを押します。</p>
<p>前の画面に 戻る</p>		<p>\leftarrowを押します。</p>
		<p>次のような画面のときに、項目を選択せず前の画面に戻りたいときは、\leftarrowを選んでOKボタンを押します。</p>
		
		

項目のヘルプ（説明）を見る

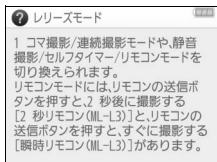



Q (?)
ボタン

画面に ? (ヘルプあり表示) が表示されているときに Q (?) ボタンを押すと、その項目のヘルプ（説明）が表示されます。



? (ヘルプあり表示)



- 説明が2ページ以上ある場合は、マルチセクターの  を押して、次のページを表示してください。
- もう一度 Q (?) ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

(風景)

自然の風景や街並みを、色鮮やかに撮影したいときに使います。

ご注意

- 内蔵フラッシュは発光しません。
- AF補助光は照射されません。

(こどもスナップ)

子供の撮影に向いています。肌の色を美しく表現すると同時に、服装や背景も鮮やかに仕上げます。

(スポーツ)

運動会などスポーツ写真の撮影に向いています。動きのある被写体の一瞬の動きを鮮明にとらえ、躍動感のある画像に仕上げます。

ご注意

- 内蔵フラッシュは発光しません。
- AF補助光は照射されません。

(クローズアップ)

草花や昆虫などの小さな被写体に近づき、大きく写したいときに使います。

- マイクロレンズを使用すると、より被写体に近づいて撮影することができます。

(夜景ポートレート)

夕景や夜景をバックに、人物を撮影したいときに使います。人物と背景の両方を美しく表現します。

三脚の使用について

暗いときや手ブレが気になるときは、三脚の使用をおすすめします。

特殊効果をつけて撮影する (スペシャルエフェクトモード)

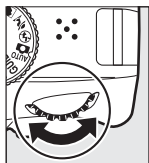
特殊な効果のついた画像を撮影できます。

■ スペシャルエフェクトモードの設定方法

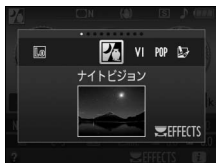
モードダイヤルを**EFFECTS**に合わせた後、コマンドダイヤルを回して設定します。



モードダイヤル




コマンドダイヤル



画像モニター

• 次のスペシャルエフェクトモードから設定できます。

 ナイトビジョン	 ミニチュア効果
 極彩色	 セレクトカラー
 ポップ	 シルエット
 フォトイラスト	 ハイキー
 トイカメラ風	 ローキー

■ 各スペシャルエフェクトモードの特徴

(ナイトビジョン)

意図的に高感度で撮影して、モノトーン（白黒）で表現します。暗闇での撮影に適しています。

ご注意

- オートフォーカスはライブビュー撮影時のみ使えます。
 - オートフォーカスがピントが合いにくい場合は、フォーカスモードを **[MF]**（マニュアルフォーカス）に設定してください。
 - 内蔵フラッシュは発光しません。
 - AF補助光は照射されません。
-

VI (極彩色)


画像全体の色を強調し、コントラストがはっきりした写真にします。

POP (ポップ)

画像全体の色を鮮やかにし、明るい雰囲気になります。

(フォトイラスト)

輪郭を強調し、色数を減らすことでイラスト風に表現します。


- ライブビューにすると、 (フォトイラスト) の効果を設定できます (□54)。

ご注意

- オートフォーカス中は効果が一時解除されます。
 - 動画撮影の場合は、コマ送りのような動画として記録されます。
 - 動画撮影中はオートフォーカスは作動しません。
-


(トイカメラ風)

色の濃さと周辺減光量を調整し、トイカメラで撮影したように表現します。

- ライブビューにすると、 (トイカメラ風) の効果を設定できます (□55)。
-

(ミニチュア効果)

ミニチュア (模型) を接写したように表現します。高いところから見下ろして撮影する場合に適しています。


- ライブビューにすると、 (ミニチュア効果) の効果を設定できます (□56)。

ご注意

- 内蔵フラッシュは発光しません。
- AF補助光は照射されません。
- オートフォーカス中は効果が一時解除されます。
- 動画撮影の場合は、早送り動画として記録されます。
- 動画撮影の場合は、音声は記録されません。
- 動画撮影中はオートフォーカスは作動しません。

(セレクトカラー)

選んだ色のみをカラーで残し、それ以外の色をモノトーン (白黒) で表現します。

- ライブビューにすると、 (セレクトカラー) の効果を設定できます (□58)。

ご注意

内蔵フラッシュは発光しません。

(シルエット)

背景が明るいシーンで、被写体を意図的にシルエットで表現します。

ご注意

内蔵フラッシュは発光しません。

(ハイキー)

全体的に明るめの被写体の撮影に適しています。画像全体を意図的に明るいトーンで表現します。光に満ちた華やいだ雰囲気になります。

ご注意

内蔵フラッシュは発光しません。

(ローキー)

全体的に暗めの被写体の撮影に適しています。画像全体を意図的に暗いトーンで表現します。深く落ち着き、ハイライト部分が引き立った雰囲気になります。









ご注意

内蔵フラッシュは発光しません。

三脚の使用について

暗いときや手ブレが気になるときは、三脚の使用をおすすめします。

スペシャルエフェクトモードについて

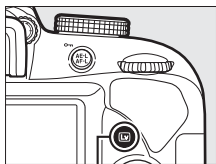
- 撮影モード 、VI、POP、、 または  の場合に画質モード [RAW] で撮影すると、画質モード FINE の JPEG 画像が記録されます。
- 撮影モードが  または  のときにリリースモードを [C] (連続撮影) に設定した場合、連続撮影速度が遅くなります。
- 撮影モードが  または  のときは、ライブビューの表示の更新は遅くなります。

■ (フォトイラスト) の効果の設定方法

スペシャルエフェクトモードで を選んだ後、ライブビューで効果を設定します。

1 Lv ボタンを押す

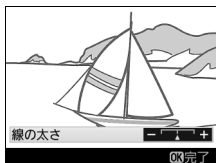
- 画像モニターに被写体が表示されます。



Lv ボタン

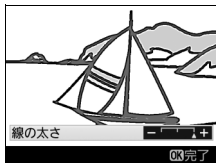
2 OK ボタンを押す

- フォトイラストの設定画面が表示されます。



3 線の太さを設定する

- マルチセレクターの を押すと細くなり、 を押すと太くなります。



4 決定する

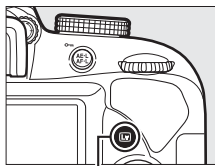
- OK ボタンを押して決定すると、設定した効果で撮影できます。
- ライブビューを終了する場合は、Lv ボタンを押します。

■ 風 (トイカメラ風) の効果の設定方法

スペシャルエフェクトモードで 風 を選んだ後、ライブビューで効果を設定します。

1 Lv ボタンを押す

- 画像モニターに被写体が表示されます。



Lv ボタン

2 OK ボタンを押す

- トイカメラ風の設定画面が表示されます。



3 色の濃さと周辺減光を設定する

- マルチセレクターの \blacktriangle または \blacktriangledown を押して、設定したい項目を選びます。
- [色の濃さ]: \blacktriangle を押すと色が濃くなり、 \blacktriangledown を押すと薄くなります。
- [周辺減光]: \blacktriangle を押すと減光効果が強くなり、 \blacktriangledown を押すと弱くなります。



4 決定する

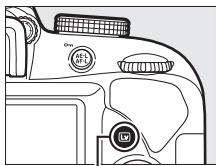
- OK ボタンを押して決定すると、設定した効果で撮影できます。
- ライブビューを終了する場合は、Lv ボタンを押します。

■ 効果 (ミニチュア効果) の効果の設定方法

スペシャルエフェクトモードで効果を選んだ後、ライブビューで効果を設定します。

1 Lv ボタンを押す

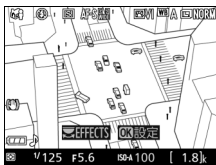
- 画像モニターに被写体が表示されます。



Lv ボタン

2 フォーカスポイントを被写体に重ねる

- マルチセレクターで、ぼかさないのではっきりと見せたい部分にフォーカスポイントを移動します。
- シャッターボタンを半押しして、ピントが合う部分を確認します。
- Q ボタンを押すと、被写体が拡大表示され、ピントを細部まで確認できます。Q (?) ボタンを押すと画像を縮小表示します。
- 拡大表示中は効果が一時解除されます。







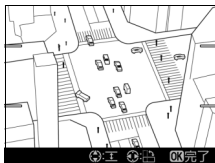
3 OK ボタンを押す

- ミニチュア効果の設定画面が表示されます。





4 効果を加える方向と幅を設定する

-  または  を押すと、効果を加える方向を縦と横から選べます。
-  または  を押すと、効果を加える幅を設定できます。



5 決定する

-  ボタンを押して決定すると、設定した効果で撮影できます。
- ライブビューを終了する場合は、 ボタンを押します。

ミニチュア効果での動画撮影について

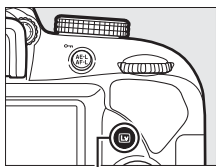
動画の記録時間は撮影にかかる時間よりも短くなります。たとえば、撮影メニュー **【動画の設定】** (P.67) の **【画像サイズ/フレームレート】** が 1920 × 1080、30p の場合、約3分の動画ファイルを作成するためには、約45分の撮影時間が必要です。

■ ④ (セレクトカラー) の効果の設定方法

スペシャルエフェクトモードで④を選んだ後、ライブビューで効果を設定します。

1 Lv ボタンを押す

- 画像モニターに被写体が表示されます。



Lv ボタン

2 OK ボタンを押す

- セレクトカラーの設定画面が表示されます。





3 残したい色を抽出する

- カメラを動かして画面中央の枠を残したい色の被写体に重ねます。
- ④ ボタンを押すと、被写体が拡大表示され、残したい色を細部まで確認できます。④ (?) ボタンを押すと画像を縮小表示します。
- マルチセクターの④を押すと、画面中央の枠に重ねた被写体の色が抽出され、色の枠に表示されます。
- 抽出した色以外の色は、モノトーン（白黒）で表示されます。






4 抽出する色の感度を設定する

-  または  を押して、抽出する色の感度を [1] ~ [7] から設定します。数値が大きいほど抽出する色の色相が広くなり、小さいほど狭くなります。





5 抽出する色を追加する

- コマンドダイヤルを回して別の色の枠を選び、手順3~4と同じ手順で色を抽出し、色の感度を設定します。
- 最大3色まで設定できます。
- 抽出した色を選んで  ボタンを押すと、抽出した色をリセットします。
- 抽出した全ての色を削除したい場合は、 ボタンを押し続けます。確認画面で [はい] を選んで  ボタンを押すと、全ての色をリセットします。



6 決定する

-  ボタンを押して決定すると、設定した効果で撮影できます。
- ライブビューを終了する場合は、 ボタンを押します。

セレクトカラー設定時のご注意

- 残したい色の彩度によっては、抽出しにくい場合があります。彩度の高い色の抽出をおすすめします。
- 色の感度を高く設定しすぎると、選択した色に近い色相の色も抽出されます。

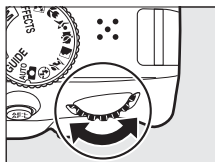
P：プログラムオート

シャッターチャンスを見逃したくないスナップなど幅広い撮影に適しています。被写体の明るさに応じて、露出が適正になるようにカメラがシャッタースピードと絞り値を自動的に決定します。

S：シャッター優先オート

動きを写し止めて撮影したいときや、被写体の動きを強調する撮影に適しています。シャッタースピードを自分で決めると、露出が適正になるようにカメラが自動的に絞り値を決定します。

- コマンドダイヤルを右に回すとシャッタースピードが速くなり、左に回すとシャッタースピードが遅くなります。



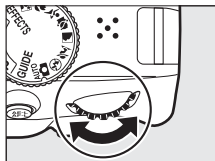
コマンドダイヤル



A：絞り優先オート

背景をぼかしてメインとなる被写体を浮き立たせたい場合や、近くから遠くまでピントの合った写真を撮りたい場合に適しています。絞り値を自分で決めると、露出が適正になるようにカメラが自動的にシャッタースピードを決定します。

- コマンドダイヤルを左に回すと絞りが開き（絞り値が小さくなり）、右に回すと絞りが絞り込まれ（絞り値が大きくなります）。



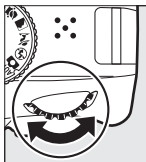
コマンドダイヤル



M: マニュアル


露出インジケーター (□63) を確認しながら、シャッタースピードと絞り値の両方を自分で設定します。

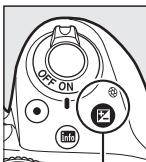
- **シャッタースピードの設定**：コマンドダイヤルを右に回すとシャッタースピードが速くなり、左に回すとシャッタースピードが遅くなります。




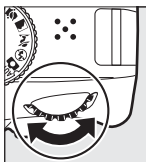
コマンド
ダイヤル



- **絞り値の設定**： (⊗) ボタンを押しながらコマンドダイヤルを左に回すと絞りが開き（絞り値が小さくなり）、右に回すと絞りが絞り込まれ（絞り値が大きくなります）ます。



 (⊗) ボタン



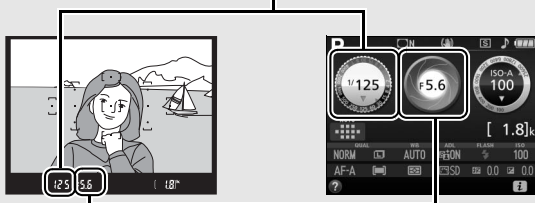
コマンド
ダイヤル



シャッタースピードと絞り値について

シャッタースピードと絞り値は、ファインダー内とインフォ画面に表示されます。

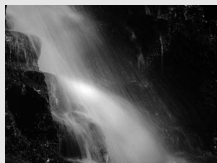
シャッタースピード



絞り値



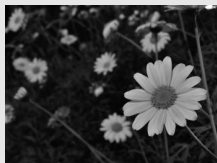
動きの速い被写体を撮影したいときは、速いシャッタースピードに設定する
(シャッタースピード: 1/1600秒)



被写体の動きを強調したいときは、遅いシャッタースピードに設定する
(シャッタースピード: 1秒)



メインとなる被写体を浮き立たせたいときは、絞りを開く
(絞り値: F5.6)



近くから遠くまでピントの合った写真を撮影するには、絞りを絞りこむ (絞り値: F22)

露出インジケータの見方

適正露出	1/3段アンダー	2段以上オーバー
-. 0 . +	-. 0 . +	-. 0 . +
		▬▬▬▬▶

画像の明るさを調整する（露出補正）

露出補正とは、カメラが制御する適正露出値を意図的に変えることです。画像全体を明るくしたり、暗くしたいときなどに使います（撮影モードP、S、A、シーンモード、☒のみ）。



-1段補正



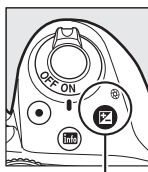
露出補正なし



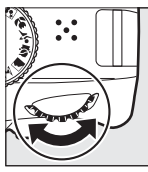
+1段補正

露出補正值を変える

- ☒ (⊗) ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、ファインダー内とインフォ画面の露出補正値が変わります。



☒ (⊗) ボタン



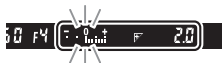
コマンド
ダイヤル



インフォ画面



-0.3段補正



+2.0段補正

- 被写体を明るくしたいときは+側に、暗くしたいときは-側に補正します。

露出補正の設定について

露出補正は、インフォ画面でも設定できます (□9)。



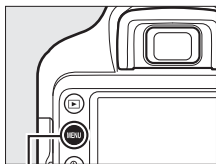
露出補正の解除について

撮影モード**P**、**S**、**A**、**M**で露出補正を行った場合、露出補正を解除するには、補正值を0.0にしてください。カメラの電源をOFFにしても、補正值の設定は解除されません。シーンモードまたは \square で露出補正を行った場合、撮影モードを切り換えるか、カメラの電源をOFFにすると露出補正值の設定は解除されます。

メニューを使う

再生や撮影、カメラの基本的な設定をするときは、主にメニュー画面を使います。

MENU ボタンを押すと、画像モニターに次のようなメニュー画面（例：セットアップメニュー）を表示します。

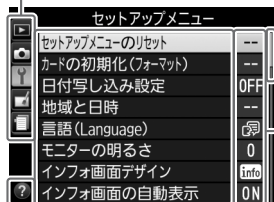


MENU ボタン

メニュー切り換えタブ

次の各メニューのアイコンのタブを選ぶと、選んだメニュー画面が表示されます。

	再生メニュー
	撮影メニュー
	セットアップメニュー
	画像編集メニュー
	最近設定した項目



メニュー項目が次の画面に移ると、このバーが移動します

各項目の現在の設定をアイコンで表示します

メニュー項目

タブで選んだメニュー内にある設定項目を一覧表示します

ヘルプあり表示 (□70)

メニュー項目の一覧

▶ 再生メニュー：再生で使える便利な機能

削除	縦位置自動回転
再生フォルダー設定	スライドショー
再生画面設定	レーティング
撮影直後の画像確認	スマートフォンへの送信指定
縦横位置情報の記録	

📷 撮影メニュー：撮影で使える便利な機能

撮影メニューのリセット	自動ゆがみ補正
画質モード	フォーカスモード
画像サイズ	AFエリアモード
ISO感度設定	内蔵AF補助光の照射設定
ホワイトバランス	測光モード
ピクチャーコントロール	内蔵フラッシュ発光/ 外付けフラッシュ発光
色空間	光学手ブレ補正*
アクティブD-ライティング	動画の設定
ノイズ低減	
ヴィネットコントロール	

*このメニューに対応したレンズを装着したときのみ表示されます。

■ Y セットアップメニュー：カメラを使いやすく する基本設定

セットアップメニューのリセット	ボタン動作のオプション
カードの初期化（フォーマット）	フォーカスエイドインジケーター
日付写し込み設定	AF設定時のフォーカスリング操作※3
地域と日時※1	連番モード
言語（Language）※1	記録フォルダー設定
モニターの明るさ	ファイル名設定
インフォ画面デザイン	HDMI
インフォ画面の自動表示	位置情報
パワーオフ時間	機内モード
セルフタイマー	スマートフォンと接続
リモコン待機時間（ML-L3）	スマートフォンへの自動送信
クリーニングミラーアップ※2	Bluetooth
イメージダストオフデータ取得	Eye-Fi送信機能※4
画像コメント	認証マークの表示
著作権情報	カードなし時リリース
電子音設定	カメラの初期化
フリッカー低減	ファームウェアバージョン

※1 販売地域によって異なります。

※2 バッテリー残量表示が  以下のときは選べません。

※3 このメニューに対応したレンズを装着したときのみ表示されます。

※4 この機能に対応したEye-Fiカードを挿入したときのみ表示されます。

■ 画像編集メニュー：撮影した画像に行う編集機能

RAW現像	モノトーン
トリミング	画像合成
リサイズ	塗り絵
D-ライティング	フォトイラスト
簡単レタッチ	カラースケッチ
赤目補正	ミニチュア効果
傾き補正	セレクトカラー
ゆがみ補正	絵画調
アオリ効果	動画編集
魚眼効果	編集前後の画像表示*
フィルター効果	

※ 編集前または編集後の画像を1コマ表示して **i** ボタンを押して、[画像編集] を選んだときのみ表示されます。

■ 最近設定した項目

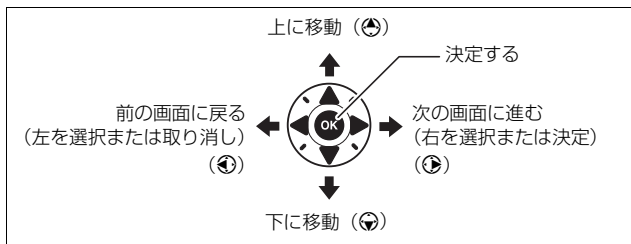
最後に設定したメニュー項目から順番に最新の20項目が自動的に表示されます。

メニューについて

各メニュー項目の機能については、カメラのヘルプ (□70) をお使いください。

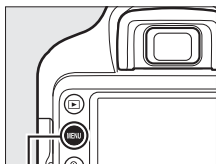
■ メニュー項目の設定方法

メニューの操作には、マルチセレクターとOKボタンを使います。




1 メニュー画面を表示する



- MENU ボタンを押します。

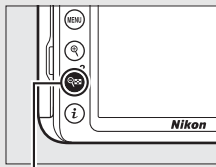



MENU ボタン

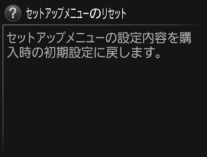
④ (?) (ヘルプあり表示)

ヘルプがある場合に  (?) ボタンを押すと、その項目のヘルプ (説明) を表示します。


- 説明が2ページ以上ある場合は、マルチセレクターの  を押して、次のページを表示してください。
- もう一度  (?) ボタンを押すと、メニュー画面に戻ります。

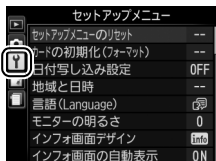


 (?) ボタン





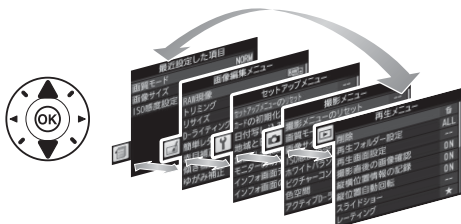
2 メニューのタブを選ぶ

- マルチセクターの  を押して、タブのアイコンを黄色く表示します。




3 メニューを切り換える

-  または  を押して、メニューのタブを切り換えます。





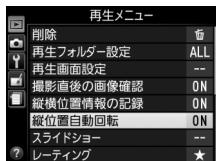
4 選んだメニューに入る

-  を押して、選んだメニューに入ります。




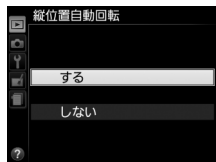
5 メニュー項目を選ぶ

-  または  で項目を選びます。



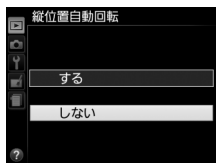
6 設定内容を表示する

- を押して設定内容を表示します。




7 設定内容を選ぶ

- またはで設定内容を選びます。






8 決定する

- ボタンを押して決定します。
- メニュー操作をキャンセル (中止) するには、**MENU**ボタンを押してください。



- メニュー画面から撮影に戻るには、シャッターボタンを半押し(□28)してください。

メニュー項目の設定について

- 撮影モードやカメラの状態によって、設定できないメニュー項目があります。この場合、その項目はグレーで表示されて選べません。
- ボタンの代わりにマルチセレクターのを押しても決定できますが、画像の削除やSDカードの初期化などの重要な設定項目については、ボタンしか使えない項目があります。

ViewNX-i

ViewNX-iをインストールする

ViewNX-iは、画像の転送、閲覧、および調整ができるソフトウェアです。ViewNX-iのインストールにはインターネットに接続できる環境が必要です。ソフトウェアの最新情報、動作環境は、当社ホームページのサポート情報でご確認ください。

- ViewNX-iは、下記のホームページからViewNX-iの最新のインストーラーをダウンロードし、画面の指示に従ってインストールしてください。
<http://downloadcenter.nikonimglib.com/>

Capture NX-Dについて

Capture NX-Dは、カメラで撮影した画像を調整したり、RAW現像したりできるニコンのソフトウェアです。Capture NX-Dは下記ホームページからダウンロードしてインストールできます。

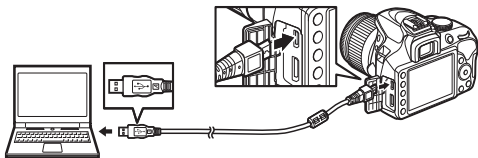
<http://downloadcenter.nikonimglib.com/>

ViewNX-iを使う

ViewNX-iを使ってパソコンに画像を取り込む

1 パソコンに接続する

- SDカードを入れたカメラの電源をOFFにしてから、別売のUSBケーブルでカメラとパソコンを接続し、カメラの電源をONにする。



2 ViewNX-iのNikon Transfer 2が起動する

- 起動するプログラム（ソフトウェア）を選ぶ画面がパソコンに表示されたときは、Nikon Transfer 2を選びます。

3 画像をパソコンに取り込む

- [転送開始] をクリックすると、記録されている画像がパソコンに取り込まれます。



[転送開始]


4 接続を解除する

- カメラの電源をOFFにして、USBケーブルを抜きます。

Windows 7をお使いの場合

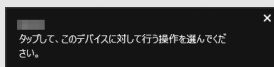
図のような画面が表示されたときは、次の手順でNikon Transfer 2を選びます。



- 1 [画像とビデオのインポート]で使用するプログラムにNikon Transfer 2を選ぶ
 - [画像とビデオのインポート]の[プログラムの変更]をクリックすると表示される画面で、Nikon Transfer 2を選んで、[OK]をクリックします。
- 2  アイコンをダブルクリックする

Windows 10またはWindows 8.1をお使いの場合

パソコンの設定によっては、図のようなダイアログが表示されます。この場合は次の手順でNikon Transfer 2を選びます。



- 1 ダイアログをクリックする
- 2 [画像ファイルを取り込む - Nikon Transfer 2] をクリックする



OS Xをお使いの場合

Nikon Transfer 2が自動起動しないときは、カメラとパソコンを接続した状態で、Mac付属アプリケーションのイメージキャプチャを起動し、カメラを接続時に開くアプリケーションとしてNikon Transfer 2を設定してください。

ViewNX-iの詳しい使い方は

ViewNX-iのヘルプを参照してください。

☑ パソコンとの接続時のご注意

- カメラとパソコンが通信している間は、カメラの電源をOFFにしたり、USBケーブルを抜いたりしないでください。
- ケーブルを接続するときは、端子の挿入方向を確認して無理な力を加えずに、まっすぐに差し込んでください。端子を引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。
- ケーブルを抜き差しするときは、必ずカメラの電源がOFFになっていることを確認してください。
- カメラとパソコンを接続するときは、十分に充電されたバッテリーをお使いになることをおすすめします。

☑ USBハブについて

USBハブを使ってカメラをパソコンやプリンターに接続すると、正しく動作しないことがあります。

資料

このカメラで使えるアクセサリやカメラの主な仕様など、カメラを使うときに役立つ情報を記載しています。また、カメラの動作がおかしいときや警告メッセージが表示されたときの対処方法についても説明しています。

使用できるレンズ

このカメラで使用できるCPUレンズとレンズの仕様によるファインダー撮影時の制限は次の通りです。CPUレンズ、Eタイプレンズ、Gタイプレンズ、Dタイプレンズの確認方法については、□78をご覧ください。

レンズ※1	モード	フォーカスモード			撮影モード		測光モード	
	AF (オート フォーカス)	フォーカス エイド	MF (マニュアル フォーカス)	M	M 以外		 / 	
Eタイプのレンズ	○	○	○	○	○	○	○※2	
GタイプのAF-Sレンズ、 AF-Pレンズ	○	○	○	○	○	○	○※2	
GタイプのAFレンズ	×	○	○	○	○	○	○※2	
Dタイプレンズ	×	○	○	○※3	×	×	×	
PC-E NIKKOR シリーズ※4、5	×	○※6	○	○	○	○	○※2	
PCマイクロ 85mm F2.8D※7	×	○※6	○	○※3	×	○	○※2	
Gタイプ、Dタイプ 以外のAFレンズ (F3AF用を除く)	×	○※8	○	○※3	×	×	×	
AI-Pニッコール	×	○※9	○	○※3	×	×	×	

※1 AF-Sテレコンバーター装着時は、合成絞り値がF5.6以上明るい場合。

※2 フォーカスポイントの選択によりスポット測光エリアの移動が可能。

※3 露出インジケータは使用不可。

- ※4 PC-E NIKKOR 24mm f/3.5D EDを装着してレボルピング操作をすると、レンズのシフトノブがカメラボディに接触する場合があります。
- ※5 アオリ操作をしているときは適正露出になりません。
- ※6 アオリ操作をしていない場合のみ可能。
- ※7 アオリ操作をしているとき、または開放絞り以外のときは適正露出になりません。
- ※8 AF80-200mm f/2.8S、AF35-70mm f/2.8S、AF28-85mm f/3.5-4.5S(New)、AF28-85mm f/3.5-4.5Sレンズを使用し、ズームの望遠側かつ至近距離で撮影した場合、ファインダースクリーンのマット面の像とフォーカスイドのピント表示が合致しない場合があります。このような場合は、ファインダースクリーンのマット面を利用してピントを合わせて撮影してください。
- ※9 開放F値がF5.6以上明るいレンズのみ使用可能。

🔪 オートフォーカス可能なレンズについて

- このカメラでオートフォーカスでピントを合わせるには、Eタイプ/GタイプのAF-S、またはAF-Pレンズが必要です。AF-S、AF-Pは、レンズ名の次の部分に明示されています。

AF-P DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6G VR

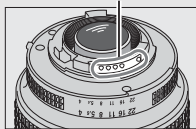
レンズ名のこの部分がAF-SまたはAF-Pであることをご確認ください。

- Eタイプ/GタイプのAF-S、またはAF-Pレンズ以外のオートフォーカス(AF)レンズを装着しても、このカメラではオートフォーカス撮影できません。

🔪 CPUレンズ、Gタイプレンズ、Eタイプレンズ、Dタイプレンズの確認方法について

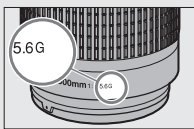
CPUレンズにはCPU信号接点があります。Gタイプレンズには「G」マークが、Eタイプレンズには「E」マークが、Dタイプレンズには「D」マークが付いています。GタイプレンズとEタイプレンズには、絞りリングがありません。

CPU信号接点

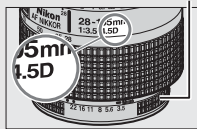


CPUレンズ

絞りリング



Gタイプレンズ/
Eタイプレンズ



Dタイプレンズ

❌ 使用できないCPUレンズ

IXニッコールレンズは装着できません。無理に装着しようとすると、カメラやレンズを破損しますのでご注意ください。

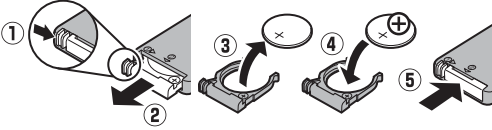
使用できるアクセサリ

このカメラには撮影領域を広げるさまざまなアクセサリが用意されています。詳しくは最新のカタログや当社のホームページなどでご確認ください。

電源	<ul style="list-style-type: none">● Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL14a (□10) ニコンデジタルカメラD3400用のバッテリーです。 - EN-EL14aの代わりにEN-EL14も使えます。● バッテリーチャージャー MH-24*1 (□10) Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL14aおよびEN-EL14用のチャージャーです。● パワーコネクタ EP-5A、ACアダプター EH-5b*2 ACアダプターを使用すると、長時間カメラを使用するときに安定して電源を供給できます。 - このカメラは、カメラ本体とACアダプターを接続するためにパワーコネクタ EP-5Aが必要です。 - EH-5bの代わりにACアダプター EH-5/EH-5aも使えます。 ※1 家庭用電源のAC 100～240 V、50/60 Hzに対応しています。日本国外では、必要に応じて市販の変換プラグアダプターを装着してお使いください。変換プラグアダプターは、あらかじめ旅行代理店などで確かめの上、お買い求めください。 ※2 日本国内専用電源コード (AC 100V対応) 付属。日本国外でお使いになるには、別売の電源コードが必要です。
ボディキャップ	<ul style="list-style-type: none">● ボディキャップ BF-1B、BF-1A レンズを取り外したカメラボディに取り付けることにより、ミラーや撮像素子、ファインダースクリーンなどへのゴミやほこりの付着を防ぎ、カメラ内部を保護します。
アクセサリシューカバー	<ul style="list-style-type: none">● アクセサリシューカバー BS-1 スピードライトを取り付けるアクセサリシューを保護するためのカバーです。

📌 使用できるアクセサリについて

- 国または地域によって、販売していない場合があります。
- アクセサリの最新情報は、当社ホームページやカタログなどでご確認ください。

USBケーブル	<ul style="list-style-type: none"> • USBケーブル UC-E20 (□74)
HDMIケーブル	<ul style="list-style-type: none"> • HDMIケーブルHC-E1 <p>カメラ側がType C、HDMI機器側がType AのHDMIケーブルです。</p>
リモコン	<ul style="list-style-type: none"> • リモコンML-L3 (□6) <p>リモコン用電池 (CR2025型3Vリチウム電池) の交換方法</p>  <p>電池室のノブを右側に押しながら (①)、隙間に爪などを差し込んで手前に引き出して (②) ください。リチウム電池を入れる際は、「+」と「-」の向きをよくご確認ください (④)。</p>
フィルター	<ul style="list-style-type: none"> • フィルターをレンズ保護のために常用する場合は、NCフィルターをお使いください。 • カメラ測光系の特性上、従来の偏光フィルター (Polar) は使用できません。円偏光フィルター (C-PL、C-PL II) をお使いください。 • 逆光撮影や、輝度の高い光源を画面に入れて撮影する場合は、フィルターによって画像上にゴーストが発生するおそれがあります。このような場合は、フィルターを外して撮影することをおすすめします。 • 露出倍数のかかるフィルター (Y44、Y48、Y52、O56、R60、X0、X1、C-PL (円偏光フィルター)、ND25、ND45、ND4、ND85、ND8、ND400、A2、A12、B2、B8、B12) を使用する場合、[測光モード] を [☉] (中央部重点測光) にして撮影することをおすすめします。[☉] (マルチパターン測光) では、十分な効果が得られない場合があります。詳しくは、フィルターの使用説明書をご覧ください。 • 特殊フィルターなどを使用する場合は、オートフォーカスやフォーカスエイドが行えないことがありますのでご注意ください。

ファインダー用 アクセサリー

• アイピースキャップ DK-5

カメラの接眼部に取り付けると、適正露出や画像に影響を与える接眼部からの逆入射光を防ぎます。

• 接眼補助レンズDK-20C

遠視、近視の方のための補助レンズで、接眼部に差し込むだけで簡単に取り換えることができます。-5、-4、-3、-2、0、+0.5、+1、+2、+3m⁻¹の9種類が用意されていますが、いずれもこのカメラの視度調節ダイヤルが基準位置(-1m⁻¹)の場合の値です。視度補正は個人差が大きいため店頭で実際に取り付けてお選びください。このカメラには視度調節機能が付いています(-1.7~+0.5m⁻¹)ので、この範囲外の視度補正が必要なときにお使いください。なお、接眼補助レンズを使用している場合は、接眼目当ては使用できません。

• マグニファイヤー DG-2

ファインダー中央部の像を拡大します。より厳密なピント合わせが必要なときに使用します。

• アイピースアダプター DK-22

上記DG-2を取り付けるためのアダプターです。

• 角窓用変倍アングルファインダー DR-6

カメラの接眼部に取り付けると、撮影レンズと直角の方向(水平方向に向けたカメラの真上など)からファインダー内の画像を確認できます。

■ SDカード

- SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、およびSDXCメモリーカードが使用できます。
- UHS-IIに対応しています。
- 動画の撮影には、SDスピードクラス6以上のカードをおすすめします。転送速度が遅いカードでは、動画の記録が途中で終了することがあります。
- カードリーダーなどをお使いの場合は、お使いのメモリーカードに対応していることをご確認ください。
- メモリーカードの機能、動作の詳細、動作保証などについては、各カードメーカーにお問い合わせください。



カメラのお手入れについて

保管について

長期間カメラを使用しないときは、必ずバッテリーを取り出してください。カメラを保管するときは、次の場所は避けてください。

- 換気の悪い場所や湿度が60%を超える場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の周辺
- 温度が50℃以上、または-10℃以下の場所

クリーニングについて

カメラ本体	ほこりや糸くずをブローアード払い、柔らかい乾いた布で軽く拭きます。海辺でカメラを使用した後は、砂や塩を真水で湿らせた布で軽く拭き取り、よく乾かします。 ご注意：カメラ内部にゴミ、ほこりや砂などが入り込むと故障の原因となります。この場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。
レンズ・ミラー・ファインダー	ガラスは傷つきやすいので、ほこりや糸くずをブローアード払いします。スプレー缶タイプのブローアードは、缶を傾けずにお使いください（中の液体が気化されずに吹き出し、レンズ・ミラー・ファインダーを傷つけることがあります）。指紋や油脂などの汚れは、柔らかい布にレンズクリーナーを少量付けて、ガラスを傷つけないように注意して拭きます。
画像モニター	ほこりや糸くずをブローアード払いします。指紋や油脂などの汚れは、表面を柔らかい布かセーム革で軽く拭き取ります。強く拭くと、破損や故障の原因となることがありますのでご注意ください。

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品はお使いにならないでください。

定期点検、オーバーホールのおすすめ

カメラは精密機械ですので、1～2年に1度は定期点検を、3～5年に1度はオーバーホールすることをおすすめします（有料）。

- 特に業務用にお使いの場合は、早めに点検整備を受けてください。
- より安心してご愛用いただけるよう、お使いのレンズやスピードライトなども併せて点検依頼されることをおすすめします。

カメラとバッテリーの取り扱い上のご注意

カメラの使用上のご注意

● 強いショックを与えない

カメラやレンズを落としたり、ぶつけたりしないようにご注意ください。強い衝撃や振動を加えると、破損したり精密に調整された部分に悪影響を及ぼします。

● 水にぬらさない

カメラは水にぬらさないようにご注意ください。カメラ内部に水滴が入ったりすると部品がさびついてしまい、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

● 急激な温度変化を与えない

極端に温度差のある場所に急にカメラを持ち込むと、カメラ内外に水滴が生じ、故障の原因となります。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてからお使いください。

● 強い電波や磁気の発生する場所で撮影しない

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲や、強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、撮影画像へのノイズ混入等、カメラが正常に機能しないことがあります。

● 長時間、太陽に向けて撮影または放置しない

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射は撮像素子の褪色・焼き付き、破損を起こすおそれがあります。また、その際撮影された画像に、真っ白くにじみが生じることがあります。

● カメラ本体のお手入れについて

カメラ本体のお手入れの際は、プロアーでゴミやほこりを軽く吹き払ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。特に、海辺で使った後は、真水を数滴たらした柔らかい清潔な布で塩分を拭き取ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いて乾かしてください。

● ミラーやレンズの手入れ方法について

ミラーやレンズは傷が付きやすいので、ゴミやほこりが付いているときは、ブローアで軽く吹き払う程度にしてください。なお、スプレー缶タイプのプロアーの場合、スプレー缶を傾けずにお使いください（中の液体が気化されずに吹き出し、ミラーやレンズを傷つける場合があります）。レンズに万一指紋などが付いてしまった場合は、柔らかい清潔な布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭き取ってください。

● 撮像素子前面の手入れ方法について

撮像素子前面のクリーニングの方法については活用ガイドをご覧ください。

● シャッター幕に触れない

シャッター幕は非常に薄いため、押さえたり、突いたり、ブローアなどで強く吹くなどは、絶対にしないでください。傷や変形、破損などの原因となります。

● 風通しのよい場所に保管する

カビや故障などを防ぐため、風通しのよい乾燥した場所を選んでカメラを保管してください。防虫剤があるところ、磁気を発生する器具のそば、高温となる夏季の車内、使用しているストーブの前などにカメラを置かないでください。故障の原因になります。

● 長期間使用しないときは、バッテリーを取り出し、乾燥剤と一緒に保管する

カメラを長期間使用しないときは、バッテリーの液もれなどからカメラを保護するために、必ずカメラからバッテリーを取り出しておいてください。保管する際は、カメラをポリエチレン袋などに乾燥剤と一緒に入れておくことより安全です。ただし、皮ケースをビニール袋に入れると、変質することがありますので避けてください。バッテリーは高温、多湿となる場所を避けて保管してください。乾燥剤（シリカゲル）は湿気を吸うと効力がなくなるので、ときどき交換してください。カメラを長期間使用しないまま放置しておく、カビや故障の原因となることがあるので、月に一度を目安にバッテリーを入れ、カメラを操作することをおすすめします。

● バッテリーやACアダプターを取り外すときは、必ずカメラの電源をOFFにする

カメラの電源がONの状態、バッテリーを取り出したり、ACアダプターを取り外すと、故障の原因となります。特に撮影中や記録データの削除中に前記の操作は行わないでください。

● 画像モニターについて

- モニター画面は、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効ドットがありますが、0.01%以下でドット抜けするものがあります。そのため、常時点灯（白、赤、青、緑）あるいは非点灯（黒）の画素が一部存在することがありますが、故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。あらかじめご了承ください。
- 屋外では日差しの加減で画像モニターが見えにくい場合があります。
- 画像モニター表面を強くこすったり、強く押ししたりしないでください。画像モニターの故障やトラブルの原因になります。もしゴミやほこり等が付着した場合は、ブローアで吹き払ってください。汚れがひどいときは、柔らかい布やセーム革等で軽く拭き取ってください。万一、画像モニターが破損した場合、ガラスの破片などでケガをするおそれがあるので充分ご注意ください。中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、充分ご注意ください。

● モアレについて

モアレは、被写体の模様と撮像素子の配列とが干渉して起きる現象で、連続するパターンのある画像（建物の格子や格子模様、格子状に並んだビルの窓など）や、規則的に繰り返す細かい模様を持つ被写体（カーテンレースの網目や衣類など）を撮影したときに発生することがあります。

モアレが発生しやすい被写体を撮影するときは、撮影距離を変える、ズームレンズをご使用の場合はズーミングして焦点距離を変える、被写体に対する角度を変えて撮影する、などの方法をおすすめします。

バッテリーの使用上のご注意

お使いになる前に、必ず「安全上のご注意」(□ix～xii)をお読みになり、記載事項をお守りください。

- バッテリーの使用方法を誤ると液もれにより製品が腐食したり、バッテリーが破裂したりするおそれがあります。次の使用上の注意をお守りください。
 - バッテリーはカメラの電源をOFFにしてから入れる。
 - バッテリーを長時間使用した後は、バッテリーが発熱していることがあるので注意する。
 - バッテリーの端子は、汚さないように注意する。
 - 必ず指定のバッテリーを使う。
 - バッテリーを火の中に投入したり、ショートさせたり、分解したりしない。
 - カメラやチャージャーから取り外したバッテリーには、必ず端子カバーを付ける。
- カメラの使用直後など、バッテリーの温度が高くなっている場合は、温度が下がるのを待ってから充電してください。バッテリー内部の温度が高い状態では、充電ができなかったり、または不完全な充電になるばかりでなく、バッテリーの性能が劣化する原因になります。
- しばらく使わない場合は、カメラでバッテリーを使い切った状態でカメラから取り外し、涼しいところで保管してください。周囲の温度が15℃～25℃くらいの乾燥したところをおすすめします。暑いところや極端に寒いところは避けてください。
- 使用後のバッテリーは半年以内に充電するようおすすめします。長期間保管する場合は、半年に一回程度充電した後、カメラでバッテリーを使い切ってから涼しいところで保管してください。
- 使用しないときは必ずバッテリーをカメラやチャージャーから取り外してください。付けたままにしておくと、電源が切れていても微小電流が流れていますので、過放電になり使えなくなるおそれがあります。
- バッテリーは0℃～40℃の範囲を超える場所ではお使いにならないでください。バッテリーの性能が劣化したり、故障の原因となります。
- 周囲の温度が5℃～35℃の室内で充電してください。バッテリーの温度が0℃以下、60℃以上のときは、充電をしません。
- バッテリーの温度が0℃～15℃、45℃～60℃のときは、充電できる容量が少なくなる、または充電時間が長くなることがあります。

● 撮影前にバッテリーをあらかじめ充電する

撮影前にバッテリーを充電してください。付属のバッテリーは、ご購入時にはフル充電されていません。

● 予備バッテリーを用意する

撮影の際は、充電された予備のバッテリーをご用意ください。特に、海外の地域によってはバッテリーの入手が困難な場合があるので、ご注意ください。

● 低温時にはフル充電したバッテリーを使用し、予備のバッテリーを用意する

低温時に消耗したバッテリーを使用すると、カメラが作動しないことがあります。低温時にはフル充電したバッテリーを使用し、保温した予備のバッテリーを用意して暖めながら交互に使用してください。低温のために一時的に性能が低下して使えなかったバッテリーでも、常温に戻ると使えることがあります。

● バッテリーの残量について

- 電池残量がなくなったバッテリーをカメラに入れたまま、何度も電源のON/OFFを繰り返すと、バッテリーの寿命に影響を及ぼすおそれがあります。電池残量がなくなったバッテリーは、充電してお使いください。
- 十分に充電したにもかかわらず、室温での使用状態でバッテリーの使用時間が極端に短くなってきた場合は、バッテリーの寿命です。新しいリチャージャブルバッテリーをお求めください。

● 充電が完了したバッテリーを続けて再充電しない

バッテリー性能が劣化します。

● 小型充電式電池のリサイクル

不要になった充電式電池は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。



Li-ion00

数字の有無と数値は、電池によって異なります。




チャージャーの使用上のご注意






- 充電中にチャージャーをゆすったり、充電中のバッテリーに触れたりすると、振動や静電気の影響により、きわめてまれではありますが、未充電にもかかわらず充電完了表示になる場合があります。このような場合にはバッテリーを取り外し、再度セットして充電を再開してください。
- チャージャーの端子をショートさせないでください。発熱、破損の原因となります。
- チャージャーを使用しないときは、チャージャーをコンセントから抜いてください。
- バッテリーチャージャーMH-24対応のバッテリー以外は充電しないでください。











警告メッセージ









画像モニターとファインダーに表示される警告メッセージの意味は次の通りです。

警告表示について

画像モニターに, またはファインダー内にが点滅している場合に (?) ボタンを押すと、警告の内容を確認することができます。

こんなとき		対処方法
画像モニター	ファインダー内表示	
レンズ未装着	 (点滅)	<ul style="list-style-type: none">• レンズを装着してください。• EタイプまたはGタイプ以外のレンズを装着しているときは、撮影モードMで撮影してください。
撮影するにはズームリングを回してレンズを繰り出してください。	 (点滅)	レンズが収納されています。ズームリングボタンを押しながらズームリングを回して、ロックを解除してください。
撮影できません。バッテリーを交換してください。	 (点滅)	残量のあるバッテリーに交換してください。
お使いのバッテリーと正しく通信ができないためカメラの動作を停止します。安全にお使いいただくために専用バッテリーと交換してください。	 (点滅)	専用バッテリーに交換してください。
起動エラーが発生しました。復旧には電源スイッチをOFFにして再度ONにしてください。	 (点滅)	電源を一度OFFにしてから、バッテリーを入れ直し、もう一度電源をONにしてください。

こんなとき		対処方法
画像モニター	ファインダー内表示	
バッテリーが残り少なくなりました。ただちに作業を終了し、電源スイッチをOFFにしてください。	—	クリーニングを中止し、電源をOFFにしてください。
日時未設定	 (点滅)	日時を設定してください。
メモリーカード未挿入	  (点滅)	SDカードを正しく入れてください。
メモリーカードが書き込み禁止になっています。	 (点滅)	SDカードのロックを解除してください。
このメモリーカードは壊れている可能性があるため、使用できません。カードを交換してください。	   (点滅)	<ul style="list-style-type: none"> このカメラで使用できるSDカードであるかどうかを確認してください。 SDカードを初期化し直してください。状況が改善しない場合は、SDカードが壊れている可能性があります。ニコンサービス機関にご相談ください。 新規フォルダー作成時にこのメッセージが表示された場合は、不要な画像を削除してください。 新しいSDカードに交換してください。
このメモリーカードは初期化(フォーマット)されていません。フォーマットしてください。	 (点滅)	<ul style="list-style-type: none"> SDカードをカメラで初期化してください。 電源をOFFにしてから、正しく初期化されたSDカードに交換してください。
メモリーカード空き容量不足	  (点滅)	<ul style="list-style-type: none"> SDカードに記録されている画像を削除して、SDカードに画像ファイルが保存可能な状態にしてください。必要な画像はパソコンなどに転送してバックアップしてください。 新しいSDカードに交換してください。
—	● (点滅)	構図を変えるか、マニュアル(手動)でピントを合わせてください。

こんなとき		対処方法
画像モニター	ファインダー内表示	
被写体が明るすぎます	 (点滅)	<ul style="list-style-type: none"> ISO感度を低くしてください。 シャッタースピードをより高速側にセットしてください。 絞りを絞り込んで(より大きい数値にして)ください。 市販のND (光量調節用) フィルターをお使いください。 の場合は、撮影モードを切り換えてください。
被写体が暗すぎます	 (点滅)	<ul style="list-style-type: none"> ISO感度を高くしてください。 フラッシュをお使いください。 シャッタースピードをより低速側にセットしてください。 絞りを開いて(より小さい数値にして)ください。
Sモード時Bulb制御不可	b u l b /  (点滅)	<ul style="list-style-type: none"> シャッタースピードを変えてください。
Sモード時Time制御不可	- -/  (点滅)	<ul style="list-style-type: none"> 撮影モードMで撮影してください。
—	 (点滅)	フラッシュがフル発光しました。撮影に必要な光量が不足している可能性があります。撮影距離、絞り、フラッシュ調光範囲、ISO感度などをご確認ください。
—	  (点滅)	<ul style="list-style-type: none"> フラッシュをお使いください。 撮影距離、絞り値、調光範囲、ISO感度などを確認してください。 レンズの焦点距離が18mmより広角になっています。焦点距離を18mm以上にしてください。
何らかの異常を検出しました。 復旧にはシャッターボタンをもう一度押してください。	Err (点滅)	もう一度シャッターボタンを押してください。警告表示が解除されない場合や、頻繁に警告が表示される場合は、ニコンサービス機関にご相談ください。

こんなとき		対処方法
画像モニター	ファインダー内表示	
起動エラーが発生しました。 サービス機関にお問い合わせください。	Err (点滅)	ニコンサービス機関にご相談ください。
測光機能エラー	Err (点滅)	ニコンサービス機関にご相談ください。
ライブビューを開始できません。 カメラ内部の温度が下がるまでしばらくお待ちください。	—	カメラ内部の温度が下がるまで、ライブビューを一時休止してください。
撮影画像がありません。	—	<ul style="list-style-type: none"> • 画像が記録されている SD カードを入れてください。 • 再生メニューの [再生フォルダー設定] を [記録中のフォルダー] で、表示可能な画像があるフォルダーを選んでください。
このファイルは表示できません。	—	<ul style="list-style-type: none"> • パソコンで編集した画像など、DCF規格の画像ファイルではないため、再生できません。 • 画像ファイルに異常があるため再生できません。
この動画は編集できません。	—	<ul style="list-style-type: none"> • このカメラで撮影した動画しか編集できません。 • 2秒未満の動画は編集できません。
このファイルは選択できません。	—	このカメラで撮影または編集した画像しか画像編集できません。
処理できる画像がありません。	—	[RAW現像] で画像編集できるのはRAW画像だけです。
カメラの温度が下がるまで通信機能は使えません。	—	カメラの電源をOFFにして、カメラ内部の温度が下がるまでしばらく待ってから接続をやり直してください。

主な仕様

■ ニコンデジタルカメラD3400

型式

型式	レンズ交換式一眼レフレックスタイプデジタルカメラ
レンズマウント	ニコンFマウント (AF接点付)
実撮影画角	ニコンDXフォーマット、焦点距離が約1.5倍のレンズのFXフォーマットでの画角に相当

有効画素数

有効画素数	2416万画素
-------	---------

撮像素子

方式	23.5×15.6 mmサイズCMOSセンサー
総画素数	2472万画素
ダスト低減機能	イメージダストオフデータ取得 (Capture NX-Dが必要)

記録形式

記録画素数	<ul style="list-style-type: none">6000×4000ピクセル (サイズL)4496×3000ピクセル (サイズM)2992×2000ピクセル (サイズS)
画質モード	<ul style="list-style-type: none">RAW 12ビット (圧縮)JPEG-Baseline準拠、圧縮率 (約) : FINE (1/4)、NORMAL (1/8)、BASIC (1/16)RAWとJPEGの同時記録可能
ピクチャーコントロールシステム	スタンダード、ニュートラル、ビビッド、モノクローム、ポートレート、風景、フラット、いずれも調整可能
記録媒体	SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード (SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードはUHS-I規格に対応)
対応規格	DCF 2.0、Exif 2.3、PictBridge

ファインダー

ファインダー	アイレベル式ペンタミラー使用一眼レフレックス式ファインダー
視野率	上下左右とも約95% (対実画面)
倍率	約0.85倍 (50mm f/1.4レンズ使用、 ∞ 、 -1.0 m^{-1} のとき)
アイポイント	接眼レンズ面中央から18mm (-1.0 m^{-1} のとき)
視度調節範囲	$-1.7\sim+0.5\text{m}^{-1}$
ファインダー スクリーン	B型クリアマットスクリーン VII
ミラー	クイックリターン式
レンズ絞り	瞬間復元式、電子制御式







レンズ

オートフォーカス可能 レンズ	AF-SのEタイプ、AF-SのGタイプ、またはAF-Pレンズ
-------------------	--------------------------------

シャッター


型式	電子制御上下走行式フォーカルプレーンシャッター
シャッタースピード	1/4000~30秒 (1/3ステップ)、Bulb、Time
フラッシュ同調シャッター スピード	X=1/200秒以下の低速シャッタースピードで同調

レリーズ機能











レリーズモード	 : 1コマ撮影、  : 連続撮影、  : 静音撮影、  : セルフタイマー、  2s: 2秒リモコン (ML-L3)、  : 瞬時リモコン (ML-L3)
連続撮影速度	最高約5コマ/秒* * フォーカスモードがマニュアルフォーカスで、撮影モードがS (シャッター優先オート) またはM (マニュアル)、1/250秒以上の高速シャッタースピード、その他が初期設定時
セルフタイマー	作動時間: 2、5、10、20秒、撮影コマ数: 1~9コマ



露出制御	
測光方式	420分割RGBセンサーによるTTL開放測光方式
測光モード	<ul style="list-style-type: none"> • マルチパターン測光：3D-RGB マルチパターン測光Ⅱ (EまたはGタイプレンズ使用時) • 中央部重点測光：φ8 mm相当を測光 (中央部重点度約75%) • スポット測光：φ3.5 mm相当 (全画面の約2.5%) を測光、フォーカスポイントに連動して測光位置可動
測光範囲	<ul style="list-style-type: none"> • マルチパターン測光、中央部重点測光：0～20 EV • スポット測光：2～20 EV (ISO 100、f/1.4レンズ使用時、常温20℃)
露出計連動	CPU連動方式
撮影モード	<p>AUTO：オート、Ⓧ：発光禁止オート、P：マルチプログラムオート (プログラムシフト可能)、S：シャッター優先オート、A：絞り優先オート、M：マニュアル</p> <ul style="list-style-type: none"> • シーンモード：👤：ポートレート、🌄：風景、👶：こどもスナップ、🏃：スポーツ、👁：クローズアップ、🌃：夜景ポートレート • スペシャルエフェクトモード：🌃：ナイトビジョン、VI：極彩色、POP：ポップ、🎨：フォトイラスト、📷：トイカメラ風、🏠：ミニチュア効果、🎨：セレクトカラー、🎨：シルエット、🎮：ハイキー、🎮：ローキー
露出補正	P、S、A、M 、シーン、 📷 モード時に設定可能、範囲：±5段、補正ステップ：1/3ステップ
AEロック	📷 (Om) ボタンによる輝度値ロック方式
ISO感度 (推奨露光指数)	ISO 100～25600 (1段ステップ)、感度自動制御が可能
アクティブ D-ライティング	する、しない

オートフォーカス

方式	TTL位相差検出方式：フォーカスポイント11点（うち、クロスタイプセンサー1点）、マルチCAM 1000オートフォーカスセンサーモジュールで検出、AF補助光（約0.5～3 m）付
検出範囲	-1～+19 EV（ISO 100、常温（20℃））
レンズサーボ	<ul style="list-style-type: none"> • オートフォーカス（AF）：シングルAFサーボ（AF-S）、コンティニュアスAFサーボ（AF-C）、AFサーボモード自動切り換え（AF-A）を選択可能、被写体条件により自動的に予測駆動フォーカスに移行 • マニュアルフォーカス（MF）：フォーカスエイド可能
フォーカスポイント	11点のフォーカスポイントから選択可能
AFエリアモード	シングルポイントAF、ダイナミックAF、オートエリアAF、3D-トラッキング（11点）
フォーカスロック	半押し（  ）ボタン、またはシングルAFサーボ（AF-S）時にシャッターボタン半押し

フラッシュ

内蔵フラッシュ	 、  、  、  、  、  、  、  、  、  時：オートポップアップ方式による自動発光 P、S、A、M 時：押しボタン操作による手動ポップアップ方式 ガイドナンバー：約7（マニュアルフル発光時約8） （ISO 100・m、20℃）
調光方式	420分割RGBセンサーによるTTL調光制御 ：i-TTL-BL調光（マルチパターン測光または中央部重点測光）、スタンダードi-TTL調光（スポット測光）可能
フラッシュモード	通常発光オート、赤目軽減オート、通常発光オート＋スローシャッター、赤目軽減オート＋スローシャッター、通常発光、赤目軽減発光、通常発光＋スローシャッター、赤目軽減発光＋スローシャッター、後幕発光＋スローシャッター、後幕発光、発光禁止
調光補正	P、S、A、M 、シーンモード時に設定可能、 範囲：-3～+1段、補正ステップ：1/3ステップ
レディーライト	内蔵フラッシュ、別売スピードライト使用時に充電完了で点灯、フル発光による露出警告時は点滅
アクセサリシュー	ホットシュー（ISO 518）装備：シンクロ接点、通信接点、セーフティーロック機構（ロック穴）付

フラッシュ	
ニコンクリエイティブライティングシステム	対応
シンクローターミナル	ホットシューアダプター AS-15 (別売)
ホワイトバランス	
ホワイトバランス	オート、電球、蛍光灯 (7種)、晴天、フラッシュ、曇天、晴天日陰、プリセットマニュアル。プリセットマニュアル以外はいずれも微調整可能
ライブビュー機能	
レンズサーボ	<ul style="list-style-type: none"> • オートフォーカス (AF) : シングルAFサーボ (AF-S)、常時AFサーボ (AF-F) • マニュアルフォーカス (MF)
AFエリアモード	顔認識AF、ワイドエリアAF、ノーマルエリアAF、ターゲット追尾AF
フォーカス	コントラストAF方式、全画面の任意の位置でAF可能 (顔認識AFまたはターゲット追尾AFのときは、カメラが決めた位置でAF可能)
おまかせシーン (シーン自動判別)	撮影モード  、  で使用可能
動画機能	
測光方式	撮像素子によるTTL測光方式
測光モード	マルチパターン測光
記録画素数/フレームレート	<ul style="list-style-type: none"> • 1920×1080 : 60p/50p/30p/25p/24p • 1280×720 : 60p/50p ※ 60p : 59.94fps、50p : 50fps、30p : 29.97fps、25p : 25fps、24p : 23.976fps ※ 標準/高画質選択可能
ファイル形式	MOV
映像圧縮方式	H.264/MPEG-4 AVC
音声記録方式	リニアPCM
録音装置	内蔵モノラルマイク、マイク感度設定可能
感度	ISO 100～25600

画像モニター	
画像モニター	3型TFT液晶、約92万ドット (VGA)、視野角170°、視野率約100%、明るさ調整可能
再生機能	
再生機能	1コマ再生、サムネイル再生 (4、9、72分割またはカレンダーモード)、拡大再生、顔拡大再生、拡大再生中のトリミング、動画再生、スライドショー (静止画/動画選択再生可能)、ヒストグラム表示、ハイライト表示、撮影情報表示、位置情報表示、撮影画像の縦位置自動回転、レーティング、画像コメント入力可能 (英数字36文字まで)
インターフェース	
USB	Hi-Speed USB (Micro-USB端子) (標準装備されたUSBポートへの接続を推奨)
HDMI出力	HDMI端子 (Type C) 装備
Bluetooth®	
通信方式	Bluetooth® 標準規格 Ver.4.1
周波数範囲 (中心周波数)	<ul style="list-style-type: none"> • Bluetooth : 2402~2480 MHz • Bluetooth Low Energy : 2402~2480 MHz
出力	8.1 dBm (EIRP)
通信距離 (見通し)	<p>約10 m*</p> <p>* 電波干渉がない場合。通信距離は遮蔽物や電波状態などにより影響されます。</p>
表示言語	
表示言語	日本語、英語
電源	
使用電池	Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL14a(1個使用)
ACアダプター	ACアダプター EH-5b (パワーコネクタ EP-5Aと組み合わせて使用) (別売)
三脚ネジ穴	
三脚ネジ穴	1/4 (ISO 1222)
寸法・質量	
寸法 (W×H×D)	約124×98×75.5 mm
質量	<p>約445 g (バッテリーおよびSDメモリーカードを含む、ポディーキャップを除く)</p> <p>約395 g (本体のみ)</p>

動作環境


温度	0℃～40℃
湿度	85%以下（結露しないこと）

- 仕様中のデータは特に記載のある場合を除き、CIPA（カメラ映像機器工業会）規格またはガイドラインによります。
- 仕様中のデータは、フル充電バッテリー使用時のものです。
- 製品の外観・仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。本書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- カメラに表示されるサンプル画像、および説明書内の画像やイラストは、機能を説明するためのイメージです。

■ バッテリーチャージャー MH-24

電源	AC 100-240 V、50/60 Hz、MAX 0.2 A
定格入力容量	18-24 VA
充電出力	DC 8.4 V、0.9 A
適応電池	Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL14a
充電時間	EN-EL14a充電時：約1時間50分 ※残量のない状態からの充電時間（周囲温度25℃）
使用温度	0℃～40℃
寸法（W×H×D）	約70×26×97 mm
質量	約96 g

製品に表示されている記号の意味は下記の通りです。

～ AC（交流）、— DC（直流）、 クラスⅡ機器（二重絶縁構造）

■ Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL14a

形式	リチウムイオン充電電池
定格容量	7.2 V、1230 mAh
使用温度	0℃～40℃
寸法（W×H×D）	約38×53×14 mm
質量	約49 g（端子カバーを除く）

■ レンズAF-P DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6G VR、 AF-P DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6G

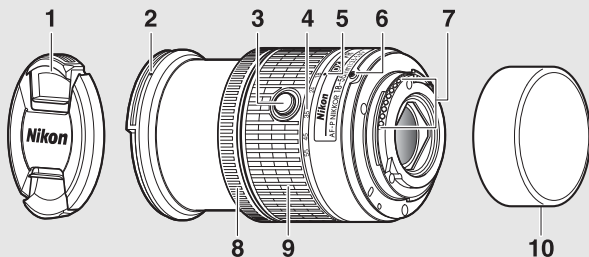
型式	ニコンFマウントCPU内蔵Gタイプ、AF-P DX レンズ
焦点距離	18 mm-55 mm
最大口径比	1 : 3.5-5.6
レンズ構成	9群12枚（非球面レンズ2枚）
画角	76°- 28° 50'
焦点距離目盛	18、24、35、45、55 mm
撮影距離情報	カメラへの撮影距離情報を出力可能
ズームリング	ズームリングによる回転式
ピント合わせ	ステッピングモーターによるオートフォーカス、 マニュアルフォーカス可能
手ブレ補正（AF-P DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6G VRのみ）	ボイスコイルモーター（VCM）によるレンズシフト方式
最短撮影距離※1	撮像面から0.25 m（ズーム全域）
絞り羽根枚数	7枚（円形絞り）
絞り方式	自動絞り
絞りの範囲※2	<ul style="list-style-type: none"> 焦点距離 18 mm時：f/3.5-22 焦点距離 55 mm時：f/5.6-38
測光方式	開放測光
アタッチメントサイズ	55 mm（P=0.75 mm）
寸法	約64.5 mm（最大径）×62.5 mm（レンズマウント基準 面からレンズ先端まで、沈胴時）
質量	AF-P DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6G VR：約205 g AF-P DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6G：約195 g

※1 距離基準マークは撮像面の位置を示します。

※2 カメラの露出値設定のステップ幅により、最小絞り値の表示が異なる場合があります。

**AF-P DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6G VR、
AF-P DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6Gについて**

本書では、主にAF-P DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6G VRのレンズを使用して説明しています。AF-P DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6G VR、AF-P DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6Gの各部名称は次の通りです。



1 レンズキャップ	6 レンズ着脱指標..... 14
2 フード着脱指標	7 CPU信号接点
3 ズームリングボタン..... 15	8 フォーカスリング
4 焦点距離目盛	9 ズームリング 26
5 焦点距離目盛指標	10 裏ぶた

- AF-P DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6G VR、AF-P DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6Gは沈胴機構を採用しています。

■ レンズ

AF-P DX NIKKOR 70-300mm f/4.5-6.3G ED VR、 AF-P DX NIKKOR 70-300mm f/4.5-6.3G ED

型式	ニコンFマウントCPU内蔵Gタイプ、AF-P DX レンズ
焦点距離	70 mm-300 mm
最大口径比	1 : 4.5-6.3
レンズ構成	10群14枚 (ED レンズ1枚)
画角	22° 50' - 5° 20'
焦点距離目盛	70、100、135、200、300 mm
撮影距離情報	カメラへの撮影距離情報を出力可能
ズーミング	ズームリングによる回転式
ピント合わせ	ステッピングモーターによるオートフォーカス、 マニュアルフォーカス可能
手ブレ補正 (AF-P DX NIKKOR 70-300mm f/4.5-6.3G ED VRのみ)	ボイスコイルモーター (VCM) によるレンズシフト方式
最短撮影距離※1	撮像面から1.1 m (ズーム全域)
絞り羽根枚数	7枚 (円形絞り)
絞り方式	自動絞り
絞りの範囲※2	• 焦点距離 70 mm時 : f/4.5-22 • 焦点距離 300 mm時 : f/6.3-32
測光方式	開放測光
アタッチメントサイズ	58 mm (P=0.75 mm)
寸法	約72 mm (最大径) ×125 mm (レンズマウント基準面 からレンズ先端まで)
質量	AF-P DX NIKKOR 70-300mm f/4.5-6.3G ED VR : 約415 g AF-P DX NIKKOR 70-300mm f/4.5-6.3G ED : 約400 g

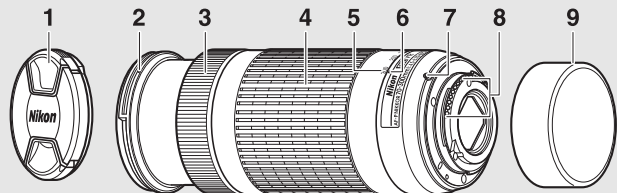
※1 距離基準マークは撮像面の位置を示します。

※2 カメラの露出値設定のステップ幅により、最小絞り値の表示が異なる場合があります。

**AF-P DX NIKKOR 70-300mm f/4.5-6.3G ED VR、
AF-P DX NIKKOR 70-300mm f/4.5-6.3G EDについて**

AF-P DX NIKKOR 70-300mm f/4.5-6.3G ED VR、

AF-P DX NIKKOR 70-300mm f/4.5-6.3G EDの各部名称は次の通りです。



- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1 レンズキャップ | 6 焦点距離目盛指標 |
| 2 フード着脱指標 | 7 レンズ着脱指標..... 14 |
| 3 フォーカスリング | 8 CPU信号接点 |
| 4 ズームリング 26 | 9 裏ぶた |
| 5 焦点距離目盛 | |

■ レンズAF-S DX NIKKOR 55–200mm f/4–5.6G ED VR II

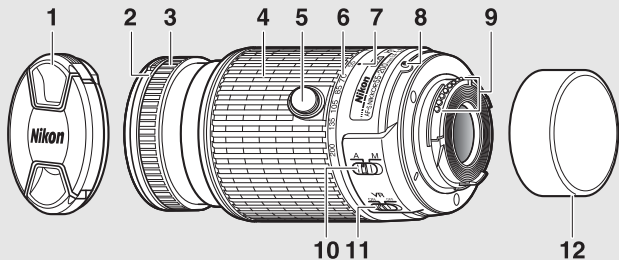
型式	ニコンFマウントCPU内蔵Gタイプ、AF-S DXレンズ
焦点距離	55 mm–200 mm
最大口径比	1 : 4–5.6
レンズ構成	9群13枚 (EDレンズ1枚)
画角	28° 50' – 8°
焦点距離目盛	55、70、85、105、135、200 mm
撮影距離情報	カメラへの撮影距離情報を出力可能
ズームリング	ズームリングによる回転式
ピント合わせ	IF(ニコン内焦)方式、超音波モーターによるオートフォーカス、マニュアルフォーカス可能
手ブレ補正	ボイスコイルモーター (VCM) によるレンズシフト方式
最短撮影距離※	撮像面から1.1 m (ズーム全域)
絞り羽根枚数	7枚 (円形絞り)
絞り方式	自動絞り
絞りの範囲	• 焦点距離55 mm時 : f/4–22 • 焦点距離200 mm時 : f/5.6–32
測光方式	開放測光
アタッチメント サイズ	52 mm (P=0.75 mm)
寸法	約70.5 mm (最大径) × 83 mm (レンズマウント基準面 からレンズ先端まで、沈胴時)
質量	約300 g

※ 距離基準マークは撮像面の位置を示します。

- 製品の外観・仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 本書の誤りなどについての補償はご容赦ください。

AF-S DX NIKKOR 55-200mm f/4-5.6G ED VR IIについて

AF-S DX NIKKOR 55-200mm f/4-5.6G ED VR IIの各部名称は次の通りです。



- | | | | |
|---|-------------------|----|-----------------|
| 1 | レンズキャップ | 7 | 焦点距離目盛指標 |
| 2 | フード着脱指標 | 8 | レンズ着脱指標..... 14 |
| 3 | フォーカスリング | 9 | CPU信号接点 |
| 4 | ズームリング..... 26 | 10 | A-M切り換えスイッチ |
| 5 | ズームリングボタン..... 15 | 11 | 手ブレ補正スイッチ |
| 6 | 焦点距離目盛 | 12 | 裏ぶた |

• AF-S DX NIKKOR 55-200mm f/4-5.6G ED VR IIは沈胴機構を採用しています。

商標説明

- SDロゴ、SDHCロゴ、およびSDXCロゴは、SD-3C, LLC.の商標です。
- Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Apple®、App Store®、Appleロゴ、iPhone®、iPad®、iPod touch®、MacおよびOS Xは米国およびその他の国々で登録された、Apple Inc.の商標です。
- iPhoneの商標は、アイホン株式会社 (<http://www.aiphone.co.jp/>) のライセンスに基づき使用しています。
- AndroidはGoogle Inc.の商標です。Androidロボットは、Googleが作成、提供しているコンテンツから複製または変更したもので、クリエイティブ・コモンズ3.0表示ライセンスに記載の条件に従って使用しています。
- IOSの商標は、米国およびその他の国におけるCiscoのライセンスに基づき使用しています。
- PictBridgeロゴは商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

HDMI

- Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、株式会社ニコンはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple products identified in the badge, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.

認証マークの表示

セットアップメニューの「**認証マークの表示**」では、このカメラが取得している認証マークの一部を確認できます (□68)。



認証

• Indonesia

44633/SDPPI/2016
4588

44168/SDPPI/2016
4593

• México

IFETEL: RCPMUTY16-0164
TYPE1FJ

Módulo WLAN instalado adentro de esta computadora
La operación de este equipo está sujeta a las siguientes
dos condiciones:

- (1) es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y
- (2) este equipo o dispositivo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.

• Paraguay

Número del Registro: 2015-12-I-0000358

Este producto contiene un transmisor
aprobado por la CONATEL.

• Brasil



• الإمارات العربية المتحدة

TRA
REGISTERED No:
ER45170/16
DEALER No:
DA39487/15

• عُمان

OMAN-TRA
R/3332/16
D090024

• الأردن

TRC/SS/2016/230

 FreeType License (FreeType2)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2012 The FreeType Project
(<http://www.freetype.org>) のものです。すべての権利はその所有者に帰属し
ます。

 MIT License (HarfBuzz)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2016 The HarfBuzz Project
(<http://www.freedesktop.org/wiki/Software/HarfBuzz>) のものです。すべ
ての権利はその所有者に帰属します。

電池寿命について

充電したLi-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL14a (1230mAh) による電池寿命は、次の通りです。

- 撮影可能コマ数 (1コマ撮影モード) : 約1200コマ (CIPA基準準拠※1)
- 動画撮影可能時間 : 約60分※2

※1 初期設定条件で 30 秒間隔ごとに撮影レンズを無限遠から至近に 1 往復フォーカシング動作をさせて1コマ撮影する。ライブビュー撮影なし。1回リリース (2回に1回は内蔵フラッシュをフル発光) した後、画像モニターを4秒間点灯。消灯後半押しタイマーがオフになるまで放置。以後同じ動作を繰り返す。装着レンズAF-P DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6G VR、温度23 (±2) °C。

※2 電池寿命測定方法を定めた CIPA (カメラ映像機器工業会) 規格による実撮影電池寿命です。装着レンズAF-P DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6G VR、温度23 (±2) °C。カメラは初期設定状態。

- 1回の動画撮影で記録可能な最長時間は20分 (1080/60p) です。
- 1つの動画ファイルで記録可能な最大ファイルサイズは4GBです。
- カメラが熱くなった場合、連続撮影時間内でも動画撮影が終了することがあります。

※ バッテリーの充電状態、撮影間隔やメニュー画面からの設定条件などの使用環境によって電池寿命が異なります。

次の場合などは、バッテリーの消耗が早くなります。

- ライブビュー撮影などで画像モニターを使用した場合
- シャッターボタンの半押しを続けた場合
- オートフォーカスのレンズ駆動を繰り返し行った場合
- 画質モードをRAWに設定して撮影した場合
- 低速シャッター速度で撮影した場合
- Bluetooth機能を使用した場合
- アクセサリーを装着して使用した場合
- VRレンズ使用時にVR（手ブレ補正）機能をONにした場合
- AF-Pレンズ使用時にズーム操作を繰り返した場合

Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL14aの性能を最大限に発揮させるため、次のことに注意してください。

- バッテリーの端子を汚さないでください。端子が汚れていると、十分な性能が発揮できません。
- 充電が完了したバッテリーは、なるべく早いうちにお使いください。使用しないまま放置していると、自己放電によって、バッテリー残量が減ってしまいます。

ニコンプラザについて

ニコンプラザは、ショールーム、サービスセンター、ギャラリーを統合したニコン映像製品の総合情報拠点です。

※ ニコンプラザサービスセンターでは持ち込み修理の受け付けも行っていきます。



ニコンプラザショールーム ナビダイヤル

0570-02-8080



ニコンプラザサービスセンター ナビダイヤル

0570-02-8060

- 音声ガイダンスにしたがってご利用ください。
- ナビダイヤルは一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター (03) 6702-0577 におかけください。

ニコンプラザの所在地、営業時間などについては、下記URL
をご覧ください。

<http://www.nikon-image.com/support/showroom/>



修理サービスのご案内

■インターネットでのお申込み

ニコンイメージングジャパン修理センターで承ります。

下記のホームページからお申込みいただけます。

<http://www.nikon-image.com/support/repair/>



●ニコンピックアップサービスで発送する場合

梱包資材のお届け・修理センターへのお引き取り、修理後のお届け・集金までをニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）が一括して代行するサービスです。全国一律の料金にて承ります（大きさや重さには制限があり、取り扱いできない製品もあります）。

●ご自身で発送する場合

インターネットでお申込みいただいた後、お客様ご自身で修理品を梱包し、修理センターまで発送してください。


株式会社ニコンイメージングジャパン修理センター

〒230-0052 横浜市鶴見区生麦2-2-26 修理センターナビダイヤル 0570-02-8200

※ 修理センターでは、宅配便、郵送をお受けします。ご来所の方の受付はしていません。

■お電話でのお申込み

お電話でのお申込みの場合は、ニコンピックアップサービスをご利用いただけます。

 ニコンピックアップサービス専用フリーダイヤル（ヤマト運輸にて承ります）
0120-02-8155

営業時間：9：00～18：00（年末年始 12/29～1/4 を除く毎日）

※ 上記フリーダイヤルは、ニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）にて承ります。修理内容に関するお問い合わせにはお答えできません。修理内容に関するお問い合わせは修理センターへお願いします。

■サービスセンターでのお手続き

ニコンプラザのサービスセンター窓口でお見積り・受付をいたします。

☑ 修理品をお預けいただく場合のご注意

- ボディーキャップやレンズキャップが付属している製品の場合は、製品保護のため、装着してお預けください。
- 修理に必要と思われるもの以外の付属品は、ご自身で保管ください。
- カメラなどの修理では、受付や修理の過程で撮影データをやむを得ず消去する場合があります。大切なデータは必ずバックアップをお取りください。

補修性能部品と修理可能期間について

補修性能部品（機能維持に必要な部品）の保有期間内（製造打ち切り後5年を目安）を、修理可能期間とさせていただきます。なお、部品保有期間の経過後も修理できる場合もありますので、ニコンサービス機関、ご購入店または最寄りの販売店にお問い合わせください。また、水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、保有期間内であっても修理できません。この故障や破損の程度の判定は、ニコンサービス機関にお任せください。

修理に関するお問い合わせ先

株式会社ニコンイメージングジャパン修理センター



修理センター ナビダイヤル

0570-02-8200

営業時間：9：30～18：00（土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業日など弊社定休日を除く毎日）

- ナビダイヤルは一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター（03）6702-0577 におかけください。

製品の使い方に関するお問い合わせ先

■インターネットでのお問い合わせ

<http://www.nikon-image.com/support/contact/>

■お電話でのお問い合わせ

お電話でお問い合わせいただく前に本説明書の「警告メッセージ」をご参照ください。



ニコンカスタマーサポートセンター ナビダイヤル

0570-02-8000

営業時間：9：30～18：00（年末年始、夏期休業日等を除く毎日）

- ナビダイヤルは一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター（03）6702-0577 におかけください。
- ファクシミリは、（03）5977-7499 にお送りください。

お問い合わせ時のお願い

- おわかりになる範囲で「製品名」、「製品番号」、「ご購入日」、問題が発生した場合は「手順」、「現象（表示されたメッセージ）」、「発生頻度」などをご確認のうえ、お問い合わせください。

ニコンイメージング会員「製品登録」のご案内

ニコンでは製品を安全に、安心してご使用いただくため「製品登録」へのご協力をお願いしております。ご登録いただいた製品に関するファームアップ情報や重要なお知らせなどをメールでご案内いたします。

■製品登録方法

製品は、「ニコンイメージング会員」（無料）の「製品登録」ページからご登録いただけます。ニコンイメージング会員登録および製品登録は以下ニコンホームページからお手続きください。

ニコンイメージング会員のご案内

<http://www.nikon-image.com/enjoy/membership/about/>

■ニコンイメージング会員とは

登録製品に関するサポート情報・ニコン製品情報や、お得で便利な会員特典*などフォトライフをよりお楽しみいただくための会員サービスです。

*特典は登録製品ごとに異なります。



■ご注意

- ・ご登録にはメールアドレスとインターネットに接続できる環境が必要です。
- ・登録製品の製品番号（製品本体および保証書に記載）が必要です。
- ・特典の内容は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

ニコンイメージングサポートページのご案内

<http://www.nikon-image.com/support/>

最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデート情報をご覧いただけます。製品をより有効にご利用いただくために、定期的なアクセスをおすすめします。



株式会社 **ニコン**

株式会社 **ニコン イメージング ジャパン**

Printed in Thailand